



創立20周年記念誌



国際ロータリー第2550地区
西那須野ロータリークラブ

目 次



クラブバナー・認証状	1
会員・姉妹クラブよせ書	2
思い出のアルバム	3
創立20周年式典	
プログラム	14
来賓並びに招待者御芳名	16
前夜祭歓迎挨拶	19
記念式典	
歓迎挨拶・祝辞	21
第11代～20代会長の表彰	31
20年の歩み	33
歴代クラブ会長テーマ並びに方針	39
ガバナー年度の思い出	51
各年度例会プログラム（5ヶ年）	59
ロータリー財団年度別実績	73
年度別ポールハリスフェロー・準フェロー氏名	74
米山記念奨学会年度別実績	75
会員増強の状況	76
会員紹介	77
あとがき	84





平成3年9月15日 於 ホテルニュー塩原

西那須野ロータリークラブ「バナー」由来



西那須野町も塩原町もかつて広大な那須の原野であった。鎌倉幕府三代目の将軍となった源実朝が、父頼朝の那須野ヶ原の狩りを思い浮かべて詠んだ。

武士の矢なみつくらう小手の上に
あられたばしる那須の雑原
(全樓和歌集)

という一首がある。

これから昔を偲んで矢羽を象徴化した。又ロータリーの活動が的を得た活動として推進されることを祈願して、という意味も含めてある。

色彩的にはバックの象徴色は清潔さを、コバルトは深遠で澄んだ空、永劫を象徴して、地名のエンジ色は奉仕の理想に燃える象徴色でもある。

(デザイナー 関谷 次男氏)



認 証 状 訳 文

この西那須野ロータリークラブは正式に結成せられ、且つその役員および会員を通じ、国際ロータリーの定款並びに細則を遵奉することを誓約することは、本証書を受納することによって立証せられた。よってここに国際ロータリーの会員たることを正式に承認せられ、且つその会員としての権利と特典を享受するものであることを証明する。

その証として国際ロータリーの印章を捺し正規の権限を有するその役員が1971年12月10日ここに署名するものである。

R. I. 会 長 アンスト G. フライトホルツ
事務 総 長 ジョーン R. ミ ー ン ズ
地区ガバナー 瀧 沢 信 二

思い出のアルバム

20周年式典



郡司昌佳会長挨拶



辻 由兵衛ガバナー祝辞



式場



歴代会長（第11代～20代）へ
感謝状贈呈



記念事業並びに目録贈呈



姉妹クラブメンバーを交えて



アトラクション
(西那須野少年少女合唱団)

西那須野ロータリークラブ創立20周年記念祝賀会



祝宴 鈴木基一P.G謝辞



「手に手つないで」



祝宴会場

前夜祭



記念事業



らくりん座公演



姉妹クラブ一行 日光見学

ガバナー公式訪問





姉妹クラブとの交流

日中少年少女合唱団相互訪問親善演奏会
(1987~'88年度)



ソウル国際大会 (1988~'89年度)

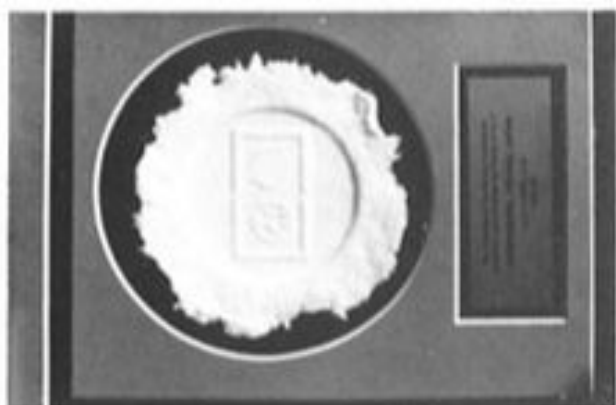


桃園 R C 創立30周年紀念式典

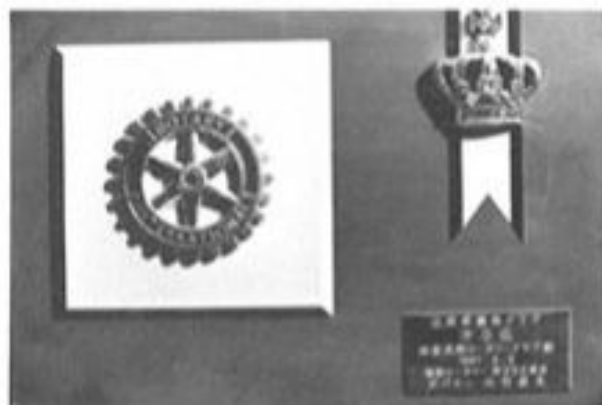
(1991~'92年度)



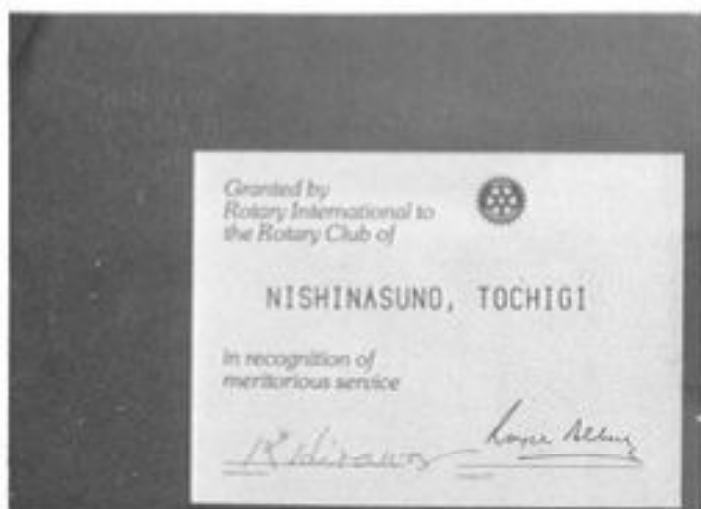
表 彰



1987～88 財団10,000%達成クラブ表彰



1986～87 出席優秀クラブ



1988～89 意義ある業績賞（4回目の受賞）

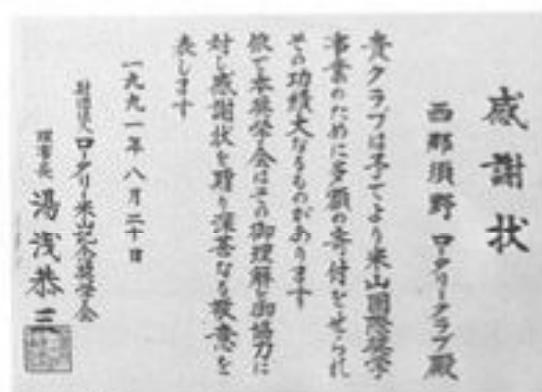




1989~90 クラブ拡大功労賞



1989~90 RI クラブ会長賞



プログラム

姉妹クラブとの交歓前夜祭

9月14日 午後6時30分～
会場 レインボーパレス
司会 副S.A.A 小沢恒明

1. 歓迎のことば 会長 郡司昌佳
2. 来訪姉妹クラブ代表挨拶 桃園R.C会長
3. * 東水原R.C会長
4. * フィリピンパラニアック
R.C会長
5. 乾杯 式典顧問バストガバナー 鈴木基一
6. 余興 日本舞踊 ホテルニュー塩原

創立20周年記念式典

受付 9月15日 午前9時30分～10時30分
式典 午前10時30分～
会場 レインボーパレス
司会 S.A.A. 佐々木 栄 緑
アシスタント 森 透
小沢恒明

1. 開式のことば 式典副委員長 室井行男
2. 点鐘 会長 郡司昌佳
3. 参加各国国家斉唱
4. ロータリーソング 「奉仕の理想」 池嶋英哲
5. 来賓紹介 会長 郡司昌佳
6. 参加クラブ紹介 S.A.A 小沢恒明
7. 会長式辞 会長 郡司昌佳
8. 物故会員に対する黙禱 会長 郡司昌佳
9. クラブ20年の歩み 小滝信光
関谷直人
10. 記念事業披露並びに目録贈呈 会長 郡司昌佳
11. 表彰 会長 郡司昌佳

創立時会長へ感謝状贈呈

歴代会長（第11～20代）へ感謝状贈呈

12. 受賞者代表謝辞		大塩直文
13. 来賓祝辞	地区ガバナー	辻由兵衛
	塩原町町長	坂内半之助
	西那須野町町長	宮本善夫
	バラニアック	エステバン パカヌアヤン
	R.C.会長	
	東水原R.C.会長	元 裕 春
	桃園R.C.会長	王 根 清
14. 祝電披露	幹 事	佐藤正一
15. 閉式のことば	式典総務	鈴木伊勢松
16. 点 鐘	会 長	郡司昌佳

アトラクション

司 会	S. A. A	佐々木 栄 緑
合唱団紹介	西那須野少年少女合唱団副団長	及 川 和 子
記念演奏	西那須野少年少女合唱団	
	指 揮	中 村 芳 子
	ピアノ伴奏	椎 名 雅 美

賛助出演曲目

1. アリラン	韓国民謡	6. 会津磐梯山	日本民謡
2. 故郷の春	♪	7. 浜千鳥	♪
3. 在那遙遠的地方	青海民謡		
4. レロンレロンシンタ	フィリピン民謡		
5. ダヒルサヨ	♪		

祝 宴

時 間	午後 1時20分～
会 場	レストランシアターオーロラ
司 会	副S. A. A 森 透

1. 開宴のことば	会 長	郡 司 昌 佳
2. 謝 辞	バストガバナー	鈴 木 基 一
3. 乾 杯	バストガバナー	坂 本 守
4. 祝 宴		
5. 余 興	日舞とイギリスの唄と踊り	ニュー塩原ショウ
6. ロータリーソング	「手に手つないで」	池 嶋 英 哲

御来賓並びに御招待者御芳名

R. I. 第2550地区ガバナー	辻 由兵衛 殿
バストガバナー	坂 本 守 殿
バストガバナー	瓜 生 英 二 殿
バストガバナー	湯 原 竹之助 殿
バストガバナー	齊 藤 五 一 殿
バストガバナー	大 橋 章 一 殿
バストガバナー	衣 笠 秀 夫 殿
令 夫 人	衣 笠 幸 子 殿
バストガバナー	板 橋 敏 雄 殿
バストガバナー	平 輪 惠 治 殿
バストガバナー	石 原 敬 士 殿
バストガバナー	宅 間 美治雄 殿
ガバナーノミニー	山 縣 健 三 殿
衆 議 院 議 員	渡 辺 美智雄 殿
県 議 会 議 員	郡 司 征 夫 殿
西 那 須 野 町 々 長	宮 本 善 夫 殿
塩 原 町 々 長	坂 内 半之助 殿
ライオンズクラブ会長	高 塩 吉 治 殿
アジア学院 理事長	高 見 敏 弘 殿
アジア学院 指導教官	稲 本 敬 夫 殿
アジア学院 米山英学生	ロ イ シ カ 殿
西那須野少年少女合唱団副団長	及 川 和 子 殿
西那須野少年少女合唱団	中 村 芳 子 殿
同 上	椎 名 雅 美 殿
同 上	長谷川 幸 子 殿
同 上	上 野 宏 美 殿
大 野 州 新 聞	石 田 清 殿
パラニアッケーロータリークラブ会長	エステバン バカヌアヤン 殿
同 夫 人	ベ レ ン バカヌアヤン 殿
同クラブ副会長	フロレンシオ アルダナ 殿
同 夫 人	エバンチェリナ アルダナ 殿
同クラブ幹事	ラファエル イラガン 殿

同 夫 人	マリアバーチニア イラガン殿
同クラブ初代会長	セサール ヤッコ殿
同 夫 人	コラソン ヤッコ殿
同クラブ国際委員長	サルバドル アセオ殿
同クラブ元会長	ホセ ガストン殿
同 夫 人	ロザリナ ガストン殿
同クラブ会員	アウグスト カティンデイグ殿
東水原ロータリークラブ会長	元 裕 春 殿
同クラブ元会長	金 知 仁 殿
同 夫 人	姜 賢 淑 殿
同クラブ元会長	李 弘 鐘 殿
同 令 嬢	李 揆 珍 殿
同クラブ元会長	金 承 煥 殿
同 夫 人	金 梅 玉 殿
同クラブ財団委員	朴 重 鉉 殿
同 夫 人	金 美 鎭 殿
同クラブ名誉会長	朴 鎭 乘 殿
桃園ロータリークラブ会長	王 根 清 殿
同クラブ幹事	羅 敏 雄 殿
同クラブ国際委員長	李 照 雄 殿
同クラブ元会長	黄 金 富 殿
同クラブ元会長	頼 君 勝 殿
同クラブ元会長	林 永 泉 殿
同クラブ元会長	卓 聰 前 殿
同クラブ元会長	葉 水 義 殿
同クラブ世界社会奉仕委員長	楊 坤 儀 殿
同クラブ新会員	莊 石 汴 殿
同クラブ新会員	翁 俊 民 殿
同クラブ新会員	呉 振 裏 殿
第一分区代理	大 高 章 殿
第三分区代理	柴 田 哲 殿
第四分区代理	谷田部 寛 殿
第八分区代理	池 亀 甲 山 殿



前夜祭歓迎挨拶

会長 郡司 昌佳

西那須野ロータリークラブ創立20周年記念式典を明日に控え、姉妹クラブのフィリピンパラニアックロータリークラブより一行12名、韓国東水原ロータリークラブより10名、台湾桃園ロータリークラブより12名のお客様が、当クラブ20周年記念式典のためご来賓下され、斯くも盛大に歓迎会を開催出来ますことは、当ロータリアンにとりまして、此の上ない喜びでございます。ご出席下さいました皆様に、深甚なる感謝の意を表する次第でございます。

さて、ここでそれぞれの姉妹クラブとの交流につきまして、顧みたいと存じます。

パラニアックロータリークラブとは、1980年11月24日に、当クラブ代表大塩会長によって姉妹クラブの縁を結び、両クラブとの友好関係が始まりました。当西那須野ロータリークラブ創立10周年の1981年3月に、記念行事として西那須野少年少女合唱団総員106名をマニラ市に派遣し、パラニアック市長主催で演奏会を開催させて頂きました。又、子供たちはロータリアン宅にホームステイをさせて頂き団員一同感謝し、大きな感銘を受けました。お陰様で本事業も成功裡に終了することが出来、改めてお礼申し上げます。

韓国東水原ロータリークラブとは、1984年12月13日にバスト会長井上正夫氏が代表で締結致しました。1988年韓国東水原ロータリークラブの創立5周年記念式典には、米賓として出席させて頂き、両クラブの絆をより強固なものに致しました。又、ロータリー国際大会には15名が参加し、親交を更に深めたのであります。1989年9月30日、姉妹クラブ再締結調印式には、張世斗会長を初め一行17名が来賓され、将来の国際親善と親睦の約束がなされました。1993年の東水原ロータリークラブの創立10周年記念式典には、是非とも参上致しお祝致したく存じます。

台湾桃園ロータリークラブとは、1985年10月11日に手塚会長が代表で締結致しました。1988年には台湾の桃園児童合唱団一行79名が来賓され、西那須野少年少女合唱団との合同親善演奏会が、西那須野町民ホールで行われました。又、子供たちは日本の家庭でホームステイを楽しみながら、両国の親善を深めました。1987年には西那須野少年少女合唱団一行125名を台湾に派遣し、台湾桃園児童合唱団との合同親善演奏会を、桃園文化センターで開催したのです。演奏会は超満員の聴衆とテレビ局、新聞取材を

受け、成功裡に終了できましたこと、改めて厚くお礼申し上げます次第でございます。

今年の11月6日の桃園ロータリークラブの30周年記念式典には、当クラブより15名が出席させて頂くことになりまして、誠に光栄なことと感じております。貴クラブの式典に華を添えることができればと楽しみにしております。

これら、それぞれの姉妹クラブ締結は、鈴木基一バスターガバナー立会いのもとに行われ、現在に至っております。その間、お互いがロータリー精神に則り、姉妹クラブとして親密な兄弟姉妹の交際を深めることにより、相互がよく理解しあい、国際交流の輪は着実に広がりを見せています。

フィリピン・韓国・台湾は、全世界においても、アジアの中でも隣国としてかかわりの深いお国であります。日本では「向う三軒両隣」、「遠い親戚より近くの他人」と

云います。近いと云うことは、お互いが大切にお付き合いすると云う習わしがあります。世界の中では本当に近所です。姉妹クラブの締結により、今後お互いが真の友達として、未来に向けて手を固く結び、ロータリアンとして国や社会のために、最善を尽くして行きましょう。

両国のロータリアンはお互いに協力しあいながら、更に前進しようではありませんか。

本日は、まさに4つの姉妹クラブそれぞれが、より親交を深めあう絶好の機会でありますので、お時間の許すかぎりご歓談下され、大いに親睦の輪が広がりますことを念願致します。本日ご出席の皆様方のご多幸とご繁栄をご祈念申し上げご挨拶と致します。

誠に有難うございました。



会長 歓迎挨拶

会長 郡司 昌佳

本日、ここに西那須野ロータリークラブ創立20周年記念式典を挙げて下さる事は、私ども会員の喜びとするところです。

ご来賓として、辻ガバナーを初めとし、バストガバナー、海外姉妹クラブであります、国際ロータリー第3810地区 フィリピンバラニアックロータリークラブ、第3690地区 韓国 東水原ロータリークラブ、第3450地区 台湾 桃園ロータリークラブのロータリアン。県内の分区代理、会長、幹事、各ロータリアンの方々には、遠路にもかかわらず当地にご参集下され、衷心より厚くお礼申し上げます。

又、本日は特別ご来賓として、衆議院議員 渡辺美智雄先生。栃木県県議会議員 郡司征夫先生。塩原、西那須野町両町長にご臨席頂いております。

みなさまのご厚情により、斯くも盛大に式典を挙げて下さる事が出来ますことは、会員一同この上ない喜びと感謝の念で、いっぱいでございます。

わが西那須野ロータリークラブは創立以来、今年で早くも20年の歳月を閲しております。

その20年の歩みを顧みますと、昭和46年に先立つ数年前より、当ロータリークラブ設

立の為に努力を傾注されました、鈴木基一バストガバナーが当クラブの生みの親でございます。設立のご尽力につきまして、鈴木基一バストガバナーに深く感謝申し上げます次第でございます。

又、故滝沢ガバナー、並びに坂本バストガバナー(当時地区幹事)、及び諸賢を初めとする、大田原ロータリークラブ特別代表、親クラブ各位の熱心なるご指導により、昭和46年に27名のチャーターメンバーを持って、西那須野ロータリークラブが産声を上げたのであります。

そして、加盟承認の認証を受け、このホテルニュー塩原のこけらおとしとして、翌年の6月4日チャーターナイトの挙行に使用させて頂きました。チャーターナイトには、550名のご来賓のご臨席を賜り、ご祝詞を頂戴致し、厳粛なチャーターナイト儀式が挙行されたのであります。その式典がつい最近の出来事のように感じますが、早くもその時から20年の歳月が流れました。

当クラブも20周年を過ぎた現在では、70名の会員数になり、このように立派に成長致して参りました。

これ一重に歴代ガバナー、分区代理、他諸先輩各位の暖かいご支援とご指導の賜物と

存じます。皆様方よりお寄せ頂きました、これらのご支援、ご指導を私たちの糧として、それに歴代会長、幹事、会員の汗とたゆまぬ努力により、当クラブが築き上げられました。

ロータリーの目的は奉仕であり、その四大奉仕部門の基本を忠実に守り、我々会員が一九となって邁進した結果だと思えます。

今日、式典に華を添えて下さいました、フィリピン パラニアックロータリークラブは、1980年に、韓国 東水原ロータリークラブは1984年に、台湾 桃園ロータリークラブは1985年に、当クラブと姉妹クラブの締結をし、両国間の親密な友好に努め、親睦を図っております。

又、当クラブでは独自でアメリカのバイセリア市やベカースフィールド市へ、数十名の学生をホームステイさせています。相互に交換学生として留学して、友好クラブの親交を深めると共に、国際交流に寄与しております。

青少年奉仕の一環として、15年前に西那須野青少年少女合唱団を、当初20数名で設立させた生みの親であります。その合唱団も現在では、75名の団員を擁するまでに成長し、国内のみならず広く海外におきましても、演奏活動を通して交際親善に寄与しています。更に、国際交流として、町内にあるアジア学院をとおして、アジア地域の人々との交流の和を広げ、日常生活を通して日本の現状を良く理解して頂くために、努力を続けています。

当クラブは、会員各位の懸命なる奉仕活

動を実践した結果、

出席優秀クラブ表彰	14回
意義ある業績賞	4回
米山功労賞	6回
RI 会長特別平和賞	

その他に数多くの功績賞及び、格調高い表彰を受賞しています。

このことは、みなさま方の暖かい友情とご指導に支えられた賜ものと、深く感謝申し上げます。

さて、現在世界172ヶ国、会員120万人のロータリアンがいます。

そのプロジェクトの事業に参加し、財団への協力は52名のポールハリスフェロー、準フェローと、寄付額 \$86,442で、13,800%を超えた実績を積みことができました。又、米山記念奨学会への寄付金 ¥12,032,996円、また功労者、準功労者を含め38名を数えています。このような実績を積み重ねながら、20年間を経過して参りました。

私たち会員一同は、まだまだロータリアンとしての修練は、未熟ではありますが、この20周年を契機としてロータリー綱領に従い、クラブ運営に際しましては、会員相互の友情を確かめ、親睦の和を広げるとともに、この良き記念日に当たり、ここに20年の節付けを成し、その歴史の上に立って、今後の推進目標を明らかにして、会員一同邁進する覚悟であります。

ご来賓の皆様におかれましては、今後とも宜しくご指導ご声援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。ご挨拶と致します。



祝 辞

国際ロータリー第2550地区
ガバナー

辻 由兵衛 殿

西那須野ロータリークラブの会員並びに御家族の皆様輝かしい創立20周年を迎えられてまして本当におめでとうございます。

1971年12月10日当時のガバナーは宇都宮ロータリークラブの滝沢信二さん、そして地区幹事は坂本守さんの時に大田原ロータリークラブをスポンサークラブとして堀江護特別代表の手によって誕生致しました。創立会員数27名、栃木県内24番目、地区内46番目の創立でありました。以来20年現在は会員数68名のクラブに発展致しました。

この20年の間唯一筋にロータリーの奉仕の灯をともしつづけて今日を迎えられました。一口に20年と申しますが当時の滝沢バスターガバナーや創立に尽力された江部順さんも今やこの世に居られません。日本のそして世界の政治経済の状況はすさまじい勢で激変しております。その中であって会員の皆様が鈴木基一バスターガバナーを中心に努力をおしまず常に当地区の指導的クラブとして発展された実績はまことに目を見張るばかりであります。

クラブの業績につきましては一口には表現出来ませんが、マッキヤフリR1会長の¹世界理解平和賞、をはじめ²意義ある業績賞、³ガバナー賞、その他数々の受賞に輝きましたことは西那須野ロータリークラブが国際奉仕に社会奉仕にそして青少年奉仕

に又新クラブの結成と、各分野にわたりすばらしい業績を残されましたが特筆すべきは、鈴木基一ガバナーを輩出されたことでもあります。このような実績はとりもなおさず西那須野ロータリークラブの会員の皆様一人一人が例会場を自己練磨の道場として研 を重ねられた証しであります。深く敬意を表わすものであります。

西那須野ロータリークラブの創立時は地区は355地区でありまして新潟・群馬・茨城・栃木の4県でクラブ数98クラブ、会員数4942人でありました。よって同年新潟・群馬は356地区となり分離独立致しました。地区番号は1977年に255地区となり本年度よりはさらに2550地区と変更になりました。現在クラブ数90クラブ、会員数4965人を数えるにいたり、再び地区分割のはこびとなりました。私は去る8月14日付で事務総長より地区分割の決定通知を受取りました。

1992年7月1日茨城県は2820地区となり分離独立し栃木県は2550地区の番号を引継ぐことになりました。西那須野ロータリークラブの創立20周年と時期を同じくして地区も再スタート致します。西那須野ロータリークラブの今後の御発展と2550地区への絶大な御貢献を期待してお祝の言葉にかえる次第です。

誠におめでとうございます。



祝 辞

国際ロータリー第3810地区
パラニアック ロータリークラブ

会 長 エステバン バカヌアヤン 殿

西那須野ロータリークラブの創立20周年記念行事に招待されましたことは、大変光栄に存じます。この記念すべきときに当たり、心からなるお祝をお送り致します。

貴クラブは、これまで地域社会に対して、多大なる貢献を成し遂げられました。又、今後も貢献を続けられることでしょう。貴クラブとの友好関係は、すでに長い年月に及んでおります。過去においては交歓訪問等を行って参りましたが、ここに創立20周年という記念すべき式典に、参列する機会

を与えて頂きました。

この機会に、われわれにとって両クラブの交友関係を新たにし、強化するよい時であります。又、私たち仲間にとって、このような経験を分かちあう絶好の機会でもあります。

パラニアック ロータリークラブを代表して、西那須野ロータリークラブとその会員諸兄が、更に良き年であり、実り豊かなロータリーの年になりますよう、お祈り申し上げます。



祝 辞

国際ロータリー3750地区
東水原ロータリークラブ

会 長 元 裕 春 殿

本日、西那須野ロータリークラブ20周年記念式典にお招きを頂き、ここに、東水原ロータリークラブを代表して、祝辞を申し上げる機会を得ましたことは、私の最も光栄とするところであります。

私のクラブと貴クラブが姉妹の結縁を締

結してから、早や7年の歳月が流れました。その間両クラブは各々の地域社会のために、又は韓日両国の理解増進のために、尽くしたと考えられます。

私共は、ロータリー精神に基づき、各自がクラブ発展に努力すると共に、両国間の

理解と国境を越えた友情を益々深め、世界平和増進に努力しなければならないと思います。

本来、私の国の韓国は、数千年前の昔より、大陸文化を日本に伝える橋の役割をしたと思います。この事実は、歴史が証明しています。私達両国民は言葉、風俗、習慣等違いますが、漢字を使うという点で歴史的、文化的に緊密な関係がございます。

今後とも両クラブは一層友情を深め、両国民の理解増進と親善を厚くし、世界平和のために貢献し、人類繁栄のため努力しましょう。

更に文明が進歩し科学が最高に発達している今日、両国は特別の関係に位置していま

す。一方の社会の安定と平和は、他方の国家社会の安定と平和に影響を及ぼすものであり、まさに口びると歯との関係にあるといえます。こういう時点に於いて、両クラブが姉妹関係を締結したことは、意義深いことと思います。私は平素生活信条として「言葉より実践」を旨としております。私はロータリアンとして国家社会と人類繁栄のため、超我の奉仕精神を発揮することを確かめるものであります。

最後に西那須野ロータリークラブの発展と、皆様のご多幸をお祈りし、真心からお祝い申し上げます。本日は誠にめでとうございました。



祝 辞

国際ロータリー第3450地区

桃園ロータリークラブ

会 長 王 根 清 殿

当クラブは林永泉会長年度より、貴クラブと姉妹関係を締結して以来、早くも6年間に成ろうとしています。この間、両クラブは頻りに交流訪問を行い、友好関係は絶え間なく増進されつつあります。

顧みれば、3年前両クラブの少年少女合唱団の交歓訪問は、両国間の文化交流を促進したばかりでなく、同時に両国の子供たちに接触する機会を提供し、国際友誼を高めたのは実に貴重な出来事だと思います。

本日貴クラブが創立20周年を迎えられ記念式典を開催されましたこと誠にめでとうございます。私は当クラブの代表として心よりお祝いを申し上げますと同時に、両クラブのより一層の交流、及びロータリアンの理想の実現のため共に努力したいと思います。

最後に、貴クラブの益々のご繁栄と皆様のご健康をお祈りして、お祝いの言葉と致します。



祝 辞

衆議院議員 渡辺美智雄 殿

西那須野ロータリークラブが創立20周年を迎えられ、記念事業並びに記念式典が盛大に開催されます事を心からお慶び申し上げます。

貴クラブの会員の方々は私の友人・知人や、恩人というべき人ばかりで、誠にうれしく思っています。

貴クラブは昭和46年に創立以来、「奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する」というロータリーの精神により地域社会に多大な貢献をされ、「意義有る業績賞」を4回、その他数多くの表彰を受賞されました。その功績に対し心から敬意を表する次第です。

貴クラブが生み育てられた、西那須野少年少女合唱団は有名で、毎年行われる発表会は好評を博し、今や西那須野町の誇りとなっています。又、アジア学院を通しての国際交流進展への努力も成果を上げているところです。

町へ出てみれば、西那須野町の旧庁舎前の時計塔、新庁舎前の「四つのテスト」の碑、新庁舎屋上の時計塔、400号線の三島のカーブの時計塔、塩原町の観光案内板などが目に入り、活躍のほどをうかがわせます。

ロータリークラブの精神は、私の気性に非常に合うので、入会するかどうか悩んだ事が何度もありました。が、結局、毎週の例会に出席する事ができないため、所属のクラブの成績に影響し、ご迷惑をおかけす

る上、ロータリー精神に反するので、加入しなかった訳でございます。

さて、わが国は、この40年間、世界中の目をみはるような繁栄をして来ました。これは自由主義経済、民主主義政治のもとでの国民の英知と努力の成果であります。

そしてまた世界一の長寿国家をつくりました。大変幸せな事です。

しかし、国民の中には不平不満が沢山あります。過去の苦勞を忘れ、いたずらに繁栄の成果だけを求めようとする風潮が起こるのは、古今東西を問わず、歴史の事実です。それは個人や家庭においても、企業、国家においても同様です。

日本もそのような傾向にあるとは言えないでしょうか。

今こそ正しい道徳を回復し、他人の利益を尊重し、思いやりの心を深め、祖先に感謝して自己の責任を果たし、国家国民の為に幾分でも奉仕してゆく気概を養う事こそ、日本の繁栄を継続する最良の道であります。

それこそが正に20周年の成熟期に達した西那須野ロータリークラブの目標そのものではないでしょうか。

貴クラブが、掲げている目標に向かって益々ご活躍されん事を期待し、発展を祈ります。

又、私も、ロータリー精神で頑張る事をお約束し、祝辞といたします。



祝 辞

栃木県議会議員 郡 司 征 夫 殿

本日は西那須野ロータリークラブ結成20周年記念の意義ある式典に御招待をいただき御祝を申し上げる機会を得ましたことは私のこの上もない光栄であります。

貴クラブが発足以来、友愛と奉仕の理念に基き明るい社会作りのため貢献されておることは周知の通りであります。

殊に近時は国際的にも親善を深められ順調なる発展を遂げられておることは慶賀に堪えません。申すまでもなくロータリー会員の皆様は各方面のリーダーの方々であります。従って皆様方のお仕事は常にロータリー精神をもって住民に奉仕されておることです。

殊に当ロータリーは、少年少女育成に意を注がれ、西那須野少年少女合唱団を結成し国内演奏は勿論、海外訪問演奏を実施し国内的にも国際的にも親善の成果をあげられております。又、演劇を開催し少年少女の情操教育に尽力されておりますことは、未来に向っての輝く基礎作りであろうと信じます。なお、本日は歴代の会長さん始め役員の皆様方の功勞の表彰があり誠にめでとうございます。この方々がおったからこそ、今日の西那須野ロータリークラブの隆盛がなされ喜びに堪えません。厚く敬意

を表します。

今や西那須、塩原地区は県北の中心地であります。高速道路を始め、JR新幹線、国道4号線と交通の要衝であり、又塩原という観光地をもっております。風水害も少く、自然環境に恵まれ山紫水明のいわゆる那須野が原という平坦地に位置しております。従って人口の増加率も栃木県下第一位であります。近き将来、市政執行も実現する発展途上の町であります。国は一極集中の是正を目指すとのことで国会を移転するとの話がありますが、首都圏内にある本県でありますので候補地として名乗りを上げるでしょう。その時は先程申し上げた通り総ての条件を具備している、当那須野が原建設が最優先されると確心をしております。

斯様な発展様相のある地域になれたのも、当ロータリー会員の皆様方が一致協力して友愛と奉仕の精神に徹したからであります。今後は本日の20周年の記念日を第一歩として、新たなる活動に踏み切ってください、大那須野が原繁栄のため、御精励願います。

最後に会員皆様方の御健康と、当ロータリークラブの益々の飛躍を祈念いたしまして祝辞といたします。



祝 辞

西那須野町長 宮本善夫 殿

西那須野ロータリークラブ創立20周年誠にめでたうございます。心からお祝い申し上げます。

貴クラブにおかれては、国際ロータリー第255地区西那須野ロータリークラブとして、昭和46年12月認証を受けられて以来20年が経過し、本日の隆盛を迎えているわけですが、ここに到るまでのご労苦は並大抵のものではなかったと推察申し上げる次第であります。

ここに、歴代会長さんはじめ会員各位のご努力に対しあらためて深く敬意を表すものであります。

また、奉仕の理念にもとづく社会活動は、多くの実績を残され、地域住民にも広く親しまれており、更に町づくりにも、深いご理解と温かいご厚情を賜っているところであり、重ねて御礼を申し上げます。

さて、西那須野町も皆様方の心強いお力添いをいただき、県内でもまれに見る発展

を遂げ、人口も3万6千余となったところでありますが、これからも、その発展は着実に伸びるものと期待いたしております。

反面、近年の著しい都市化の進展に伴う生活環境の整備、あるいは現に到来しつつある、高齢化社会に向けての福祉の充実、そして、国際理解と親善の推進等々、自治体のかかえる課題は大変多くあります。

こうした状況の中で、福祉に、教育に、文化の発展に、そして、国際親善にと、奉仕の理念にもとづく国際的なロータリークラブの使命は、今後益々重要なものとなっております。

どうか、これからも会員各位のなお一層のご活躍、ご発展をご期待申し上げますとともに、町づくりにつきましても、更なるご協力をお願い申し上げます。

終わりに、西那須野ロータリークラブのますますのご繁栄と、会員の皆様のご多幸をお祈りいたしまして、お祝いの言葉いたします。



創立20周年を記念して

塩原町長 坂内半之助 殿

このたび、西那須野ロータリークラブが創立20周年を迎えたことは、誠におめでたいこととご同慶にたえない次第であります。

本日は、西那須野ロータリークラブメンバー70名の方々を中心として、同ロータリークラブと姉妹関係にあるフィリピン、台湾、韓国からも30数名の参加を得、さらに、第2550地区の茨城県及び栃木県内90クラブの代表の方々が、ここ塩原町に一同に会し、盛大に式典が行われますことは、私にとりましても大変喜ばしい気持ちで一杯でございます。

今日、文明の進歩は著しく、特に物質面での豊かさは目をみはるものがございますが、反面人と人との心のふれあいを乏しくし、国際間の緊張をも余儀なくしている現状でございます。このような中で、友愛と奉仕の精神をもって社会福祉に、国際親善にと献身的なご尽力をされ、多くの成果を収めてこられました皆様方に対しまして、

深甚なる敬意を表するものであります。

我が塩原町も昭和31年町村合併を行い、以来今日までの35年間、産業の育成と生活基盤の充実に日々努力して参りました。国家経済の発展に伴い、今や心の豊かさを求められる時代に移り、当町においても福祉行政の一層の充実に邁進しているところでございます。その意味ではロータリーの基本精神に相通じるところもあり、皆様方の不断のご活躍は、誠に心強い限りでございます。

どうか、せっかくの来町の機会でございますので、塩原町の自然と温泉に親しまれ、この記念式典が有意義に閉じられることをお祈り申し上げます。

結びに、西那須野ロータリークラブのますますの発展と会員皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

祝 電

西那須野ロータリークラブの創立20周年、誠におめでとうございます。心からお慶び申し上げます。貴クラブの今後益々のご発展を祈念いたします。

平成3年9月15日

国際ロータリー第2550地区

バストガバナー 齊藤 隆 殿

ながい歴史をお祝い申し上げ、将来の大発展を祈ります。

バストガバナー 小竹 俊夫 殿

創立20周年、おめでとうございます。貴クラブの今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

栃木第5分区代理

小山東ロータリークラブ 田名綱誠三 殿

創立記念式典のご盛會を祝し、貴クラブ今後益々のご発展と、皆様のご活躍と、ご健勝を祈念いたします。

衆議院議員 渡辺美智雄 殿

創立20周年を祝し、益々のご発展をお祈りいたします。

西那須野町長 宮本善夫 殿

第11代～20代 会長の表彰



西郡須野R.C第拾壹代会長
大 塩 直 文 君
平成3年9月15日 (1991)

国際ロータリー第2550地区
西郡須野ロータリークラブ

1981～82 会長テーマ
「ふれあいを大切に」

貴兄はわが西郡須野ロータリークラブ第11代の会長として非常な御努力を傾注せられ 見事にその大任を完うして下さいました。
わがクラブは貴兄の独特な指導力によって創立10周年記念式典を見事に成し遂げ記念事業として少年少女合唱団の訪比演奏を成功させ またRI会長より「特別世界理解平和賞」を戴きクラブの名を内外に示しました。
本日クラブ創立20周年の記念式典に当り 貴兄の掲げた「会長テーマ」を復唱し貴兄の御功績を讃え感謝の意を表します。



西郡須野R.C第拾貳代会長
森 利 男 君
平成3年9月15日 (1991)

国際ロータリー第2550地区
西郡須野ロータリークラブ

1982～83 会長テーマ

「学ぼう そして知ろう 奉仕のために」
貴兄はわが西郡須野ロータリークラブ第12代の会長として非常な御努力を傾注せられ 見事にその大任を完うして下さいました。
貴兄の慧眼なご指導を得て新しいクラブの歴史が開かれ また会員増強優秀クラブとして受賞の榮に輝きました。
本日クラブ創立20周年の記念式典に当り 貴兄の御活躍を象徴する「会長テーマ」を復唱し御功績を讃え感謝の意を表します。



西郡須野R.C第拾参代会長
城 田 正 男 君
平成3年9月15日 (1991)

国際ロータリー第2550地区
西郡須野ロータリークラブ

1983～84 会長テーマ

「まず友を増やそう」
貴兄はわが西郡須野ロータリークラブ第13代の会長として非常な御努力を傾注せられ 見事にその大任を完うして下さいました。
わがクラブは貴兄の独特な指導力のもと地区年次大会を立派に成功させましたそしてその席上RI会長賞及び「意義ある業績賞」を受けクラブの歴史を更に価値あるものになりました。
本日クラブ創立20周年の記念式典に当り 貴兄の御活躍を象徴する「会長テーマ」を復唱し御功績を讃え感謝の意を表します。



西郡須野R.C第拾四代会長
井 上 正 夫 君
平成3年9月15日 (1991)

国際ロータリー第2550地区
西郡須野ロータリークラブ

1984～85 会長テーマ

「身近な奉仕から輪を拡げよう」
貴兄はわが西郡須野ロータリークラブ第14代の会長として非常な御努力を傾注せられ 見事にその大任を完うして下さいました。
わがクラブは貴兄の確かなご指導を得て東水原R.Cとの姉妹クラブを締結、輝かしい業績を残し奉仕活動優秀クラブとして表彰を受け価値高き一年を加えました。
本日クラブ創立20周年の記念式典に当り 貴兄の掲げた「会長テーマ」を復唱し御功績を讃え感謝の意を表します。



西郡須野R.C第拾五代会長
故手塚徳次君
平成3年9月15日(1991)

国際ロータリー第2550地区
西郡須野ロータリークラブ

1985-86 会長テーマ

寛容と和

貴兄はわが西郡須野ロータリークラブ第15代の会長として非常な御努力を傾注せられ見事にその大任を完うして下さいました。

わがクラブは貴兄の誠意に充ちたご指導を得て桃園R.Cとの姉妹クラブ締結を遂げまた日比ワークショップのホストを見事に成し遂げクラブに価値ある歴史を加えました。

本日クラブ創立20周年の記念式典にあり貴兄の御活躍を象徴する「会長テーマ」を復唱しご功勞に報い感謝の意を表します。



西郡須野R.C第拾六代会長
岡部 稔君
平成3年9月15日(1991)

国際ロータリー第2550地区
西郡須野ロータリークラブ

1986-87 会長テーマ

実りある奉仕

貴兄はわが西郡須野ロータリークラブ第16代の会長として非常な御努力を傾注せられ見事にその大任を完うして下さいました。

わがクラブは貴兄の独特な指導力によって創立15周年記念式典と云う大事業を成し遂げまた桃園R.Cの25周年記念式典参加と云う価値ある業績を残し出席優秀クラブの賞も受けました。

本日クラブ創立20周年の記念式典にあり貴兄の御活躍を象徴する「会長テーマ」を復唱しご功勞に報い感謝の意を表します。



西郡須野R.C第拾七代会長
故小林正治君
平成3年9月15日(1991)

国際ロータリー第2550地区
西郡須野ロータリークラブ

1987-88 会長テーマ

親睦の絆で開こう奉仕の扉

貴兄はわが西郡須野ロータリークラブ第17代の会長として非常な御努力を傾注せられ見事にその大任を完うして下さいました。

わがクラブは貴兄の誠意に充ちたご指導を得てR.I会長賞を受け国連400号泊に時計塔の建設を行い少年少女合唱団の台湾桃園への演奏旅行更に東水原R.C創立5周年記念式典に参加等輝かしい業績の年でした。

本日クラブ創立20周年の記念式典にあり貴兄の御活躍を象徴する言葉「会長テーマ」を復唱し御功績を讃え篤く感謝の意を表します。



西郡須野R.C第拾八代会長
関谷直人君
平成3年9月15日(1991)

国際ロータリー第2550地区
西郡須野ロータリークラブ

1988-89 会長テーマ

深めよう親睦 高めよう奉仕

貴兄はわが西郡須野ロータリークラブ第18代の会長として非常な御努力を傾注せられ見事にその大任を完うして下さいました。

わがクラブは貴兄の誠意に充ちたご指導を得て青少年の台湾桃園R.Cへの派遣 韓国ソウルでの国際大会参加ガバナー賞の受賞そして意義ある業績賞を受けクラブの歴史は価値高き一年を加えたのであります。

本日クラブ創立20周年の記念式典にあり貴兄の御活躍を象徴する言葉「会長テーマ」を復唱し御功績を讃え篤く感謝の意を表します。



西郡須野R.C第拾九代会長
小滝信光君
平成3年9月15日(1991)

国際ロータリー第2550地区
西郡須野ロータリークラブ

1989-90 会長テーマ

心ある奉仕と親睦

貴兄はわが西郡須野ロータリークラブ第19代の会長として非常な御努力を傾注せられ見事にその大任を完うして下さいました。

わがクラブは貴兄の熱意なご指導を得て新しい部門の発展として地味西郡須野R.Cの創立をみました。また町の新庁舎の時計塔の建設、東山功勞クラブとしての受賞と輝かしい業績を加えたのであります。

本日クラブ創立20周年の記念式典にあり貴兄の掲げた「会長テーマ」を復唱し御功績を讃え篤く感謝の意を表します。



西郡須野R.C第貳拾代会長
富田 勲君
平成3年9月15日(1991)

国際ロータリー第2550地区
西郡須野ロータリークラブ

1990-91 会長テーマ

恕そう 勇気と熱情をもって

貴兄はわが西郡須野ロータリークラブ第20代の会長として非常な御努力を傾注せられ見事にその大任を完うして下さいました。

わがクラブは貴兄の独特なご指導を得て文藝学生の派遣を行いアジア学院との交流を深め親睦を深めました。伊東への親睦旅行でニュー同部の前途を祝い東山翁の墓参も行いクラブの歴史は価値高き一年を加えたのです。

本日クラブ創立20周年の記念式典にあり貴兄の掲げた「会長テーマ」を復唱し御功績を讃え篤く感謝の意を表します。

20年の歩み



創生期のクラブ

(1971～76年)

創立会長 鈴木基一

1971年8月1日、当時の滝沢信二ガバナー、当時地区幹事でありました坂本守バストガバナーが来西されましたのを機に、クラブ創立の気運は急速に高まりまして、当クラブは創立されました。

最初のガバナー公式訪問は、1972年3月21日にクラブの生みの親であり、私達が「おやじさん」と、呼び親しんでおりました滝沢ガバナーによって行われ、第二回は今年8月9日岩瀬圭一ガバナーによって行われ、滝沢バストガバナーも同席され次の教示をいただきました。「大概、ロータリークラブと云うものは同じ様なクラブでありますから、このクラブにはここに特徴があるのだと云う特徴を作っておく必要があるのだと思います。このクラブでは、私は国際奉仕に因抜けていると云うふうにしたらどうかと思います。」との示唆を受けたのであります。その事が当クラブの伝統となり、今日まで引き継がれてきております。

直ちに行動に移り、米国加州524地区ローレンス、ライラガバナーに連絡、バイセリアRCのロイ、スミダ会長の諒承を得て1973年7月に地元高校生22名を派遣し交歓、

翌年8月にはバイセリア市長夫妻、スミダ会長夫妻等51名を当地に迎え会員宅にホームステイをなし交歓を致しました。

1975年7月より1ヶ年両クラブ間で各2名宛交換留学を実施し、相互理解を一層深めました。この奉仕によりまして当クラブ最初の「意義ある業績賞」を受けたのであります。1972年6月4日当クラブの認証状伝達式の席上、坂本勉社中による「奉仕の理想」の邦楽での記念演奏が本邦初演となり、その後そのレコードを作成し、全国六百クラブに配布致しました。記念事業の一環として「四つのテスト」の碑を建立し、1973年6月25日に除幕を致しました。その碑は現在も西那須野町庁舎南側にあります。碑文は五代会長草野栄龍師の筆による貴重なものであります。

創立会員のクラブに対する情熱の一端を申し上げたいと思います。故塩川兵三郎会員は喘息でしたが、例会出席のため二階階段を途中休み休み出席しておりました。出席の大切さを身をもって示されたのであり、この期間は地区各クラブの出席順位も常に十位以内でありました。

亦、思いやりの大切さを私達に教えてくれたのは鈴木伊勢松会員です。それは1973年6月ローザンヌ国際大会にクラブとして初めて4名が出席した時のことです。途中バリーで渡辺弥八会員が発病し、医師のすすめもあり急遽帰国することになり、大会出席を鈴木伊勢松会員は断念し、渡辺会員をひとりで看病して彼を無事自宅に届けた訳

であります。一週間後には渡辺会員は不帰の客となりました。この事を滝沢ガバナーは多くのR.C.の例会で話され、彼を賞賛しておりました。

以上の例でもご理解いただけると思いますが、創生期の会員はロータリアンとしての自覚と熱意に燃えておりました。





クラブの歩み

(1976～81年)

第6代会長 小池 保

1976～77年度 第6代目会長として就任致しましたが、発足時点より、国際奉仕に徹した独特のR.C.と云っても過言でない程のクラブであり、会員の中には「国際奉仕も良いが、足もとの我が郷土に力を入れ、地域住民にR.C.の理解を戴く為にも、職業奉仕、社会奉仕に心根を尽すべきである。」と云う声が上がっていたことは確かであり、私もその様に感じながら一年間を担当するつもりで、草野前会長の「確かな足取りで歩こう」と云うテーマを確かめて、前会長と同じ意味を持った「足もとを確かめながら前進しよう」「二度と通ることの出来ないこの道を」と云う考えで、テーマを発表し、一年間執行する覚悟で会長席に着いた訳です。

さて、執行の段階になると国際奉仕の流れが依然として強く、国際奉仕を無視しては当R.C.は進むことが出来ない程の型が出来上っておりました。即ち、私の年度の地区大会に於て、国際奉仕活動の「意義ある業績賞」の認証を受ける程に成長していた訳であり、今後の計画も国際を無視する事は不可能であると考えました。

又、歴代会長が造られたバイセリアR.C.との友情のかけ橋を渡ろう、そして海外の勉強も必要であると考え、1977年5月桑港国際大会では、当クラブ会員家族16名の団長となり、バイセリアR.C.の例会に

団員を代表して挨拶をし、又、会員宅をそれぞれ訪問し楽しい一夜を過ごした事が、今でも昨日の様に脳裏に焼き付いております。又、これを動機に78年は東京大会、79年はローマ大会、80年はシカゴ大会、81年は大平洋大会と連続単独ツアーを組み、大会参加と海外研修が出来たのも思い出の一つとなっております。

さて、バイセリアとの親善交流ではありますが、私共が訪米した翌年の東京大会にご出席のボイヤー夫婦は、再度西那須野に來られ、5月9日には当クラブ例会に出席。又、5月12日には「割烹いとう」で歓迎レセプションを行うなど、親密度を増々厚くしてきました。

80年8月、当クラブより夏季学生として中学生から大学生の6名の学生を、バイセリアへ送り出しましたが、引率者も無く、グループに自主性を持たせ、種々の経験をさせたことは、青少年に大きな夢と勇気を与える事が出来た訳であります。

そして、翌81年8月にはバイセリアより、夏季交換学生を迎える事になり、16才から19才の学生4名が15日間、当クラブ会員宅に泊り日本の一部ではあるが、地域内は勿論、日光、東京へと案内をして、日本の国を理解してもらう為に、毎日お世話をした事も、当クラブの歴史の一頁に残っている訳であります。その他国際奉仕で明記して

おきたい事は、1979年から3年間地区間の組み合わせ指定により、比国382地区のレガスピーR.C.との交流であります。初年度が、たまたま「国際児童年」と云う事で、先ず、児童画の交換を両クラブの交友親善を兼ねて実施し、当地区内小学生の描いた作品150点を80年2月に13名の会員で、比国レガスピーR.C.を訪問、手渡し、又、同年11月には再度訪比して、君島六郎会長とバラニアックR.C.会長との間で姉妹クラブの締結がなされました。同年12月には比国の児童画100点が当クラブに送られ、当町の中央公民館に於て公開展示しました。そして1981年6月には、レガスピーR.C.会長を団長として会員家族10余名が来西、両クラブの親善を深めるなど国際奉仕は増々拡大されてきたのであります。

又、社会奉仕面に於ては、青少年の健全なる育成を基本として永続出来るものの考

えから、鈴木創立会長の発案もあり、1978年の小出会長時の4月のクラブアッセンブリーで、少年少女合唱団の結成について討議され、着々と準備が進んで同年7月佐藤会長発足と同時に、当町中央公民館に於て町執行者立会のもとに、結団式が行われた訳であります。

以後13年の歴史を持ち各所に於て、発表会及び慰問会を行いながら、立派に一人立の出来る合唱団となった訳ですが、その間物心共に会員一人ひとりの暖かいご協力と、団長になられた城田会員の献身的努力のたまものと云っても過言ではないでしょう。

人を育てるのがロータリーの奉仕と云う考えで今後も、R.C.の後押しと合唱団員の研鑽で増々盛んに成ること間違いなしと確信する次第であります。





ロータリーのあゆみ

(1981～86年)

第11代会長 大塩直文

西那須野 R. C. は創立以来早や20余年、益々立派にそして逞しく成長をとげ、今回20周年記念式典を華々しく迎えました。

振り返って今より約10年前、今回と同じホテルニュー塩原に於て、記念式典を挙行し各会員の厚い奉仕の精神と弛まない努力と友情にささえられて、11代会長として壇上に登る事の出来た事は、私自身、身に余る光栄と生涯を通じて最高の栄誉であったと考えております。今20周年の記念すべき年を迎えるに当って、今更の様に10年前の事などが髣髴として脳裏に浮かんできます。では振り返って当時を思い出してみましょう。

1981～86年の間に於て、我がクラブ最大のトピックは、ガバナーの誕生であります。82年の正月早々、当時のガバナー大橋章一氏より「鈴木基一君を1984～1985年のガバナーに推挙したいと思うが、貴クラブに於て同意と推挙を得たい。その為、訪西する。」旨の電話連絡がありました。青天の霹靂でありました。大橋ガバナー、坂本バストガバナーそして坂本地区幹事の訪西であります。我がクラブ理事会及び全会員の同意を得て、鈴木基一会員のガバナー推挙が決定しました。そして3月には華々しく鈴木基一ガバナーノミニが正式決定、地区幹事（鈴木伊勢松）、会計長（伊藤俊三）のよき人材を得、更には頼り甲斐のある、ガバ

ナー事務所要員の決定を見て、255地区ガバナーの誕生を見たのであります。創立以来10余年、地方の一小都市のクラブが近隣クラブに先立ってガバナー選出クラブとなった事は会員一同も光栄であり又、誇りに思うと同時に奉仕活動に一層の責任を感じ、身の引き締まる思いをしたのは私一人ではないと思います。

83年4月21～22日、地区大会を塩原文化会館に於て、R. I 会長代理ハロルド・R・ヘンダーソン氏を迎え、大会テーマ「友情の確かめ合いを。限りなき友情を後世へ」のもと華々しく開催しました。我がクラブ会員の総力を挙げての大会であり、草野栄龍実行委員長のもと、2ホストも求めず単独の開催でありましたが、非常に厳粛にそして和やかに終始、成功裡に幕を閉じる事が出来ました。多くの人々より「よく出来た」「立派だった」との賛辞は、会員全員の努力が酬われた感があり感慨無量でありました。

次に、目を国際奉仕部門に向けてみましょう。国際奉仕は我がクラブ創立以来のターゲット、特色あるクラブとしての本命であり各年度共努力して来ましたが、この5年間には色々と特筆する活動がありました。

① 西那須野少年少女合唱団（ロータリークラブが育成し独立したもの）の訪比親善演奏は創立10周年記念事業として、城

田团长以下67名、我がクラブ会員40名、計107名の壮挙であります。

- ② 姉妹クラブの締結並びに相互交歓訪問、パラニアック R. C との姉妹クラブ締結に引続き、東水原 R. C (井上年度)、桃園 R. C (手塚年度) との間に締結され、その後事あるごとの相互の交歓が行なわれています。
- ③ I. G. F (現在は I. M) - (大塩年度) に於ては『日本留学生より見た日本』をテーマに自由討論-筑波大に於ける東南アジア系留学生を招待して行なわれました。
- ④ 米山奨学生のカウンセラー事業
- ⑤ レガスビー R. C. (大塩年度) の訪西、パラニアック R. C. (森年度) の訪西
- ⑥ バイセリア市地区との交換学生の受け入れ
- ⑦ 特筆すべき忘れられないものは R. I. よりの世界理解平和賞の受賞であります。これは、R. I. の地区対地区組み合わせにより比島レガスビー R. C. との交流、メンバーの訪問並びに来日、児童画の交換、W. C. S の援助、パラニアック R. C.

との姉妹クラブ締結、そして西那須野少女合唱団の訪比親善演奏旅行活動等々。当時の R. I. S. マッキァフリー会長の『ロータリーを通じて世界理解と平和を』という年次テーマに則ったプロジェクトに沿うものとして、高く評価された賜物と思われます。グラス市に於けるロータリー国際大会の席上の表彰式には、合唱団長の城田正男会員が出席されその榮譽を受けられました。

- ⑧ 日比ワークショップの開催 (85年11月19~20日) ホテルニュー塩原に於て、R. I. 会長マツト・カバラス氏を迎えての開催。今後の比島、日本その他アジア圏内のロータリー活動について熱気溢れる討議がなされました。

以上1981年~1986年の5年間、西那須野ロータリークラブのあゆみについて略記しました。

最後にこれらの各種プロジェクトの成果は、クラブ全員のロータリーに対する並々な情熱と友情によるものと感謝すると共に、今後も変らぬご協力をお願い致しましてこの頁を終ります。



歴代クラブ会長テーマ並びに方針

(第17代～21代会長)



—1987～'88年度会長テーマ—

親睦の鍵で開こう奉仕の扉

第17代会長 小林 正 治

会長就任の挨拶を申し上げます。

岡部会長の後を承りまして西那須野ロータリークラブ会長就任に当り所信の一端を申し述べます。昨年は創立15周年の記念式典も盛大に行われ、歴代会長を始め会員各位のたゆまざる努力が今日までに数々の業績を残し目出度く幕を閉じました。此の度、其の後第17代会長として御指名を受け事の重大さに大変緊張して居ります。しかし乍ら御引受け致しました以上は誠心誠意努力して参る所存でございますので、宜しくお願い申し上げます。先程も申し上げました通り一ケ年余り私の補佐役でありました森透前幹事の突然の病魔であります。予想をもし得なかった出来事であり誠に残念でありませんが、一日も早く病気の回復を願い元気な姿で例会に出席出来ます事をお祈りするのみであります。幸い室井行男幹事と言う心強い助け人を得て来月早々のガバナ―公式訪問を迎える事が出来ます事は、私と致しまして此の上ない幸せであり喜びで御座います。

扱て、新年度に於ける私の方針は、先づ

第一にクラブの融和を計るべく親睦を大切にして参り度く思います。クラブの発展には会員相互の理解が必要であると信じて居ります。各自が与えられた自分の任務を充分に果すにはお互いの協力が必要かと存じます。

本年度、既に決定して居ります行事が二つあります。その一つは当クラブがホスト役のIGF大会です。来年2月28日に決定されて居り、その大会が総べて順調に進行致し成功出来ます事を、本席より皆様にお願ひ致し早い内より準備致し度く思いますので、御協力の程宜しくお願い申し上げます。もう一つの事は国際奉仕で来春4月3日から4泊5日の予定にて姉妹クラブの台湾桃園ロータリークラブへの西那須野少年少女合唱団の10周年記念の相互訪問であります。合唱団員外、父兄ロータリー会員を含む約100名余の親善友好の演奏会であります。会員の参加と共に会員皆様方の御援助御協力を特にお願い申し上げます。

次に、今年は米山奨学生を2名御引受け致して居ります。カウンセラーの方には大

変更御骨折りを頂く訳ではありますが、何分皆様方も宜しく御願ひ致します。

又、5ヶ年計画目標でありますポリオプラス寄付でありますが継続事業でもありますので御協力の程お願い致します。

今年のクラブ会長テーマであります、「親睦の鍵で開こう、奉仕の扉」であります。会員各位の親睦と奉仕を期待して居ります。

最後になりましたが来る8月4日（第一例会）には板橋敏雄ガバナーの公式訪問があります。無事に終わります事を皆様にお願ひ致す次第であります。只今着々とその準備を幹事と共に行って居ります。何分の御協力をお願い申し上げ、会長就任の御挨拶と致します。

西那須野少年少女合唱団
 桃岡扶輪社児童合唱団
親善演奏会



日時 2月6日(土) PM 4:00開場
 PM 4:30開演

会場 西那須野市民ホール

主催 西那須野少年少女合唱団 協賛 西那須野RC会
 西那須野ロータリークラブ 後援 西那須野町



東水源RC 5周年記念訪韓



国道400号線 時計塔設置

国際ロータリー会長

1987~1988年度

地区ガバナー



チャールズC.ケラー

＝ロータリアン＝
 奉仕に結束 平和に献身



板橋敏雄

—1988～'89年度会長テーマ—

「深めよう親睦

たかめよう奉仕」



第18代会長 関谷直人

1988～89年度の新しいロータリー年度を迎えるに当り会長就任の御挨拶を申し上げます。

我が西那須野クラブは創立以来数々の輝やかな業績を有し、その名声は地区内外に轟き渡って居るところであります。この栄ある西那須野ロータリークラブの第18代会長に任命されました事は、私にとりまして、この上ない名誉な事であり、身に余る光栄に存ずるものであります。諸先輩方が今日迄、営々として築いて来られたこの伝統を私も会員諸公の絶大なる御支援と御協力を賜り乍ら一生懸命に守り且つ盛り上げて参る所存で御座居ます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

直前年度、小林会長就任の折には、時計塔の建設、ライラセミナー及びI. G. F. のホスト、姉妹クラブ台湾桃園RC率いる児童合唱団と西那須野少年少女合唱団の相互訪問合同演奏会、姉妹クラブ韓国東水原RC 5周年記念式典出席等々、矢継ぎ早に大きな行事が決して居り、いづれをも立派に大成功を納めて参ったのであります。私の年度には現在これと云った大きな行事は決して居りません。従ってこんな時こそ、クラブに力を貯える千載一遇のチャンスと考えます。

お互の絆を更に太く強く結びあって奉仕に邁進する事を願い「深めよう親睦、たかめよう奉仕」の会長テーマと致しました。

- (1)、として、私は親睦を第一に考えたいと思います。ロータリーはむつみの心から始まって居るからで御座居ます。
- (2)、として、こんな素晴らしいロータリーを一人でも多くの人達に分ち合えたらと思います。その為に会員増強は勿論であります。拡大の検討をお願い致します。まず「拡大検討委員会」（仮称）を設置して将来に向けて新クラブ結成の可能性を検討して頂き、20周年、或いは25周年記念に併せて新クラブ誕生が実現出来たらと考えます。予想人口推移では、現在の我が町の人口増加のペースから推して、テリトリー内5万人を数えるのも5～6年で望める数字のようでありますので、決して不可能な事では無いと考えます。
- (3)、には、前年に引き続き5年計画で行われて居りますポリオプラスの寄付目標額の早期完全達成を目ざして努力を致したく存じます。会員の浄財ばかりでは無く、広く一般企業に迄運動に参加して頂けたならば、尚一層その効果は大きいと思います。
- (4)、今年はその北地区身体障害者の皆さんが西那須野町を会場としてスポーツ大会を行います。世界のパラリンピックの地方予選会でもあります。ロータリークラブとして奉仕の実習を致したいと思っておりますので、担当委員会を中心に応分の御奉仕

を今からお願い申し上げます。

(5)、現在、非公式であります姉妹クラブ台湾桃園RC国際奉仕委員長の立案で学童の短期交換が計画されて居ります。実現するか否かは現時点では何とも言えませんが、具体的な話に成った場合には全力を上げて成功に導くよう努力して参りたいと思います。その節は国際・青少年両委員会を中心に御活躍願う事になります。宜しくお願いを申し上げます。

(6)、1989年5月21日より韓国ソウルに於て国際大会が行われます。「近くて遠い国」などと云われて来ましたが、我々ロータリアンが率先して近くて親しい国に致さねばなりません。

皆さん、私も参加致します。どうぞ一人でも多く御参加下さる事をお願い申し上げます。

先程、私はクラブに力を貯える時と申しました。音楽家でも或いはスポーツ選手でも練習を一日休むと元に戻すのに倍の2日

かかると云われて居ります。私達ロータリアンも常に態勢作りと、考え方だけはトレーニングして居なければ力を貯える事は出来ないと思います。RIのテーマは「ロータリーに活力を—あなたの活力を」であります。ロータリー発展の為に、我がクラブ発展の為に惜しみないあなたの活力を、今年も宜しくお願い申し上げまして就任の御挨拶と致します。有難う御座居ました。

尚、話が長くなりまして恐縮であります。私は余り器用な方では有りませんので、カッコウを付けた生き方は出来ないと思います。否、カッコウをつけて見ても決して様には成らないと思います。従いまして、私はこの一年自然体で参る所存であります。

皆さん、ロータリーをおおいに楽しくやりましょう。そして楽しくやる為には、70名からのクラブです。当然ルールは守らねばなりません。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



日中韓 三カ国青少年交歓会



G.S.E派遣（相馬政二君）



町史跡説明板設置



ソウル国際大会参加

国際ロータリー会長



ロイス・アビー

1988～1989年度

ロータリーに活力を
あなたの活力を

地区ガバナー



平輪 憲治

—1989～'90年度会長テーマ—

心ある奉仕と親睦



第19代会長 小 滝 信 光

1989～90年度の新しいロータリー年度を迎えるに当りまして、会長就任の御挨拶を申し上げます。クラブ創立以来、優れた業績を数多く残されました歴代のクラブ会長様並びに、直前会長関谷直人君の跡を継いで、浅学非才な私がこの歴史と伝統ある西那須野ロータリークラブの会長を務めさせていただき事に成りました。どうか宜しくお願い致します。

本年度ヒュー・M. アーチャーRI会長テーマは“ENJOY ROTAR”「ロータリーを楽しもう」と発表されました。RI会長はこのテーマについて“ロータリーを楽しもう”全てのロータリアンにとってクラブ会員である事が、心満ちた体験となるように、職業奉仕が各会員の人生において稔り多き体験となるように、あなたの地域社会をみんなに喜ばれるところにして、住みやすく素晴らしい世界をつくって、さあ、“ロータリーを楽しもう”とのメッセージを寄せられております。実にロータリーの原点に起因する御言葉ではないでしょうか。しかしこの「楽しもう」というメッセージには、ロータリーでのクラブ活動の四大奉仕が如何にあるべきかを一言で言い表わしておられるのではないかと思います。

ロータリーでは個人の奉仕を大切にしておる団体である事は今さら申すまでもございませんが、私達クラブ会員が一体となり、このテーマのもと奉仕の実践にクラブの活

動を推進して、クラブ会員の増強に、地域社会の発展に、職業活動の充実に、延いては国際的な発展にと、目標に向って共に努力を致しまして、この与えられた貴重な一年間を皆様と共に最良の年であり、ロータリアンとしてより楽しく奉仕の出来る年でありたいと念願しておる次第でございます。

先に行われました地区協議会において、石原ガバナーも、ロータリーの親睦と奉仕、そして綱領をより一層理解して、クラブ全体で奉仕への参加をお願いいたします。今年度は皆様と共に奉仕し皆様と共に大いにロータリーを楽しみましょう、と言っておられます。

私は、本年度クラブ会長のテーマを「心ある奉仕と親睦」と掲げさせていただきまします。当西那須野クラブも次年度には、創立二十周年の節目を迎えるクラブと成ります。この時期に、クラブ会員相互の親睦と融和を今こそ尚一層深め、今を見つめ未来に向かって、ロータリアン御家族は勿論のこと、地域の人々にロータリーの心を良く御理解いただきまして、この多様化する社会のニーズにあった奉仕プログラムを模索検討し、この奉仕が単なる金銭的な奉仕で終わってはならないと思う訳でございます。最も大切な心の豊かさを忘れず、心からの奉仕の実践に共に御参加をいただきたいと思う所存でございます。しかも奉仕活動プログラムは総てのクラブ会員に良く御理解をいた

だきまして一人の傍観者も無く心から積極的に御参加と御協力をお願いし、共に奉仕と親睦の充実感を味わえる年度でありたいと考えております。

本年度当初には早速1989年度「夏期交換学生」分区内13名の学生受入れが予定されまして、内3名のホームステイホストが既に実施され、国際奉仕活動が実践されました。又本年度も地区大会への参加、黒羽クラブホストによるIGFへの参加、一昨年に引き続き塩原でのライラセミナー、ホストとしての参加と協力、同じく塩原での身体障害者スポーツ大会の助成、韓国姉妹クラブ東水原ロータリークラブの来西、等々対外的な活動プログラムや、西那須野町新庁舎への時計塔の寄贈等、クラブ内の奉仕活動も既に計画実施に移されております。

して、会長としてその責任の重大さに身のひきしまる思いです。

クラブ活動とその運営につきましては、クラブ会員皆様の御意見を集め、各委員会計画と情報を咀嚼して、各委員会の活発なる活動が成し得ます様に会長としての責務を忘れる事なく誠心誠意、クラブ発展の為、私なりに肩肘を張らずに微力ながら、努力致す覚悟でございます。

歴代会長様を始め、クラブ諸先輩の皆様、そして本年度、理事役員の皆様、どうか皆様方の御好意と御友情に支えていただき「心ある奉仕と親睦」が、地域社会へ如何に貢献する事が出来るか、会員相互の親睦を如何に一層深められるか、奉仕・実践の為に温かい御協力と御指導をお願い申し上げます。会長就任の御挨拶と致します。



新クラブ設立



新庁舎時計塔



作文集（中学生の国際理解について）

国際ロータリー会長

1989～1990年度

地区ガバナー



ヒュー・M.アーチャー

ロータリーを楽しもう



石原敬士



—1990～'91年度会長テーマ—

恕そう 勇氣と熱情をもって

第20代会長 富田 勸

1990～91年度の新しいロータリー年度を迎えまして、会長就任の御挨拶を申し上げなければならないことが、私には大変苦痛におぼえてなりません。

我がクラブ、この伝統と素晴らしい業績を残されました西那須野ロータリークラブ、20代目の会長としての重責をひしひしと感じている今日此の頃です。

ご存じのとおり、私は地元の出身ではなく、転任して参りまして、やっと17年を迎えたばかりで、ロータリー歴も短く、西も東も分かりません。

したがって、この地域の慣習などましてやです。会長としてこのクラブを運営して行くに、色々な問題にぶつかりますでしょう。しかし、卓越した町民、地域社会の重要な存在、事業における輝かしい業績、そうした皆様が後盾になっていただけるので、安心して私なりに、この一年間を努力して参りたいと考えています。そこで、「恕そう、勇氣と熱情をもって」を、本年度、会長テーマとして掲げさせていただきます。

世界は、ベレストロイカが叫ばれ、ソビエト、バルト海三国、東西ドイツの統一、など想像もでき得なかった、素晴らしい変化を見ました。このような観点からみても、我々ロータリアンも自分たちをよくみつめ、反省し、出発しなければなりません。それは色々な問題が生じるはずで、しかし、真の愛情で結ばれている西那須野ロータリ

ークラブ会員各位におかれましては、互いに信じることから出発したからこそ、創立以来数々の輝かしい業績を残し、地区内外ともに認められる名声と伝統が築かれてきたものと確信します。

そこで、人を信じることこそ、恕すことです。この恕すと言うことは、所謂、許認可の許すと言うことと意をことにします。許す、はそこにはハートはいりません。上から下への単なる許可ですから。

私のテーマとする「恕す」は、他人を信じ、愛情を持って初めて出来ることで、なかなか難しいことです。そこで、そこには勇氣と並々ならぬ努力と熱情（パッション）が必要です。

皆で努力してみたいだけではないでしょうか？そうすれば、国際ロータリー会長、パウロ V. C・コスタ氏の唱える「ロータリーを高めよ、思いを尽くし、熱意を尽くし」のテーマもおのずと理解し、全う出来るものと考えます。

世界は小さくなりました。この激動の20世紀も、あと10年しかありません。

世界に目をむけて、我々ロータリアンも自分の職業を視つめなければならなくなりました。そこに乗り遅れてはいけません。

前会長、小滝年度は姉妹クラブ東水原ロータリークラブとの再締結、拡大委員会、塩原西那須野ロータリークラブの誕生等と多忙をきわめ、然も、立派に、大成功裡に終

了させたことは、素晴らしいことであり、西那須野ロータリークラブの歴史に残る業績と考えます。

幸いにして、今年度は、大きな事業もない様子なので、次期郡司年度の20周年記念の大事業の足固めをと考えています。

こんな時こそ、クラブ内の力を蓄える時期と考え心を引き締めています。

西那須野ロータリークラブの永続的繁栄の為には、次代の若手の育成が肝要です。この10年間、日本に、世界に新しい企業が生まれ、大企業を脅かし、それを飛び越えた企業があります。この企業は、皆、所謂、大企業病に犯されないように努力した企業です。即ち、その体質をclearにしたのです。そして、若手の意見を登用し、受身型から提案型に体質を変換したのです。それは悲壮感ではなく、ゲーム感覚、スポーツ感覚で物ごとに挑戦していったのです。我々のクラブも子供を生みました。その子供を立派に育てるのが、親の勤めです。親は

ますます勉強し、教養を身に着け切磋琢磨しないと立派な子供は育ちません。

是非、塩原西那須野ロータリークラブに顔を出してやって下さい。そして、所謂、姑根性ではなく人を信じ、愛をもってその行動を視つめ、恕してやって下さい。そうすれば、10年、20年後には、素晴らしい青年に成長するものと固く信じます。勿論、出藍の誉れは、こんなに嬉しいことはありません。

クラブ活動と運営については、各委員長、委員がよく対話して、意志の疎通をはかり、「ロータリーを高めよ」「恕そう、勇気と熱情をもって」をよく理解していただき、各委員会が活発に活動していただけるように、会長としての責務を全うすべく努力して参りますので、是非、私を活用して下さい。この一年間、会員各位の御厚情と御指導、御鞭撻をお願い致しまして、会長就任の挨拶といたします。



アジア学院との交流会

国際ロータリー会長



パウロV.C.コースター

1990～1991年度

ロータリーを高めよう

思いを尽くし

熱意を尽くし

地区ガバナー



宅間 美治雄

—1991～'92年度会長テーマ—

20周年機 見直そう 我がロータリー



第21代会長 郡 司 昌 佳

不肖 私が本日より1991年～1992年度の会長を務めさせて頂くことになりました。バスト会長並びに会員各位の絶大なるご支持、ご推薦を頂き、微力ながら会長という重責を、お引受致すことになりました。お引受しました以上は、歴代の各会長の業績を汚すこと無く、全力を挙げてクラブ発展のため、微力ながら努力致す所存でございますので、バスト会長並びに会員皆様の友情と、ご協力を切にお願い申し上げます次第です。

現在の心境は、時間の制約があるなかで、如何に日々の奉仕活動を展開し、クラブをどのように運営していくかを思考するとき、焦燥の念に駆られる毎日でありました。

然し乍ら、7月の初例会を迎える時には、次第に胆も座り、会員各位の協力を頂きながら、務める決心がついて参りました。

過去20年の間に歴代会長、幹事、会員の皆様の創意とたゆまぬ行動力、そして皆様の心の友情と団結によって築き上げられた、名誉ある西那須野のロータリークラブの会長として、創立以来20人の夫々の特色ある実績を残された歴代の会長の活躍には、私は到底及ぶべきもございませんが、私なりに及ばずながら、誠心誠意努力を惜しまず頑張る所存でございます。歴代会長を始め役員理事、並びに各会員の皆様には、ロータリーの友情と思いやりの心で、小職にご協力ご援助下さいますよう心からお願い申し上げます。

さて、願いますと、西那須野ロータリー

クラブの歴史は、会長始め皆様の努力と行動力により、誠に素晴らしい実績を蓄積して参りました。先ず、ロータリーは出席から始まる訳ですが、当クラブは皆様の特段の努力により、出席優秀クラブとして14回の表彰を受けております。

当クラブの創立は1971年に、鈴木基一会員のたゆまぬ努力によって、創立され、創立当時のガバナーは氏家の滝沢信二さんでした。その時の卓話に「当地には他にないアジア学院があり、特色あるクラブとして、国際奉仕を取り上げると良い」と言われたことを記憶しております。

その時より、クラブは国際感覚が身につき、1974～75年度ガバナー賞、意義ある業績賞を4回受賞しております。

1978～79年の佐藤年度には、青少年奉仕活動の一環として、西那須野少年少女合唱団を誕生させ、話題になりました。（下野新聞S53. 7. 11少年少女合唱団が誕生、ロータリークラブの肝煎り。栃木放送にて、S53. 7. 13 時の話題として放送。朝日新聞S53. 11. 21 歌声高らかに初の演奏会。大野州新聞S53. 7. 20 夢の少年少女合唱団誕生）

当初は20数名の団員が今では、試験により入団許可を得た80数名を数えるまでに成長し、地域も西那須野はもとより大田原、黒磯、那須一円に広がり拡大発展しております。

青少年奉仕活動で、1983～84年意義ある業績賞R I会長賞、1978～79年ガバナー賞、

青少年奉仕活動優秀クラブ、その他当クラブは多数の功績に対して、格調の高い表彰を受けております。米山功労クラブ賞6回、RI会長特別世界理解平和賞、更に、国際的に米国バイセリアRCとの友好関係が樹立し、1980年フィリピンバラニアックRC、1984年韓国東水原RC、1985年台湾桃園RCと姉妹クラブを締結し、現在も友好関係を続け、今年11月には、台湾桃園RC30周年に当たり、会員多数の出席により、花を添えたいと思います。

以上、代表的な活動状況を回想してまいりましたが、これ等の実績、功績は、当クラブの会員各位が丸となり、内外における表裏一体の活躍によるものであります。皆様方の当クラブにお寄せ頂いた、ご協力に感謝と敬意を表す次第であります。

本年は、輝く歴史で綴られている当ロータリークラブも、その歴史の一区切りとして、創立20周年記念式典を催す予定となっております。開催日は9月15日、ホテルニュー塩原にて、辻地区ガバナーを始め、友好姉妹クラブ又、常日頃お世話になっております近隣クラブの方々を招いて開催する運びとなっております。

アトラクションとしては、当クラブが生みの親であります、西那須野少年少女合唱団を招き、日頃の演奏の成果を披露する予定となっております。記念事業としては、関係団体の金銭の授与と、櫻林座による青少年の教育の一環として、特別公演を西那須野町民ホールに約1000名を招待して行う予定でございます。

これ等の行事を通して、我がロータリークラブ20周年の大きな業績と輝かしい実績

を内外に広く知って頂き、ロータリー広報に役立てたいと思います。

これら一連の行事を、我々ロータリークラブ会員全員が参加し、会員の手造りによる事業として是が否でも成功させたいと思います。それには、会員各位がロータリーに寄せる愛情と熱意に期する処が大きい訳ですので、宜しくお願い申し上げます。

今年の方針を、「20周年機、見直そう我ロータリー」にしたいと思います。

これには、創立時27名が、今や70名の大家族となりましたが、数が多くなりますと意見も色々と異なり、出席、例会場の規則、会員相互の理解も取れなくなり、中々一枚岩とはいきません。そこでクラブの定款、細則を忠実に守り、厳しさの中に楽しさ、ユーモアが有り、ロータリーに入会した事の満足感を得ること、又、外からも羨ましく思われるようなクラブにしたいと思えます。

富田年度の考え方を踏襲しつつ、スムーズな形で時期会長、室井年度へと引継ぎ致したく存じます。

その為には、充実したものの感じ方、人生経験等多数の意見を充分に聞き、公平に見つめ、理事会を最終決定機関として、良く融和を図りながら、今年度一年頑張る所存でございますので、ご協力宜しくお願い申し上げます。

尚、足利銀行の業績発展により、創立以来20年間に亘りご提供して頂きました、足利銀行西那須野支店の例会場を、割烹「いとう」に変更致し度く存じますので、ご了承下さいませようお願い申し上げます。

国際ロータリー会長

1991～1992年度

地区ガバナー



ラジェンドウK.サブー

自分を越えた眼を



辻 由兵衛

座談会

ガバナー年度の思いで

(平成3年9月10日 於 割烹いとう)

— 参加者 —

鈴木基一 鈴木伊勢松 伊藤俊三 大塩直文
小沢恒明 森利男 関谷直人 小滝信光
室井行男 郡司昌佳 森悠子 (敬称略)

20周年記念実行委員会総務委員長

鈴木伊勢松

只今20周年記念の記録及び記念誌担当委員長の小池一徳さんからお話がありました通り、今回の記念誌に鈴木基一さんが、ガバナーを勤められた当時を顧みて思い出などを掲載したいと云う事で当時関係の深かった方々に御出席を頂きました。

この企画は、現在我がクラブに第二のガバナー指名云々との話もあり、地区も分割される事でもありますので遠からずその大任を、好むと好まざるとにかかわらずお引き受けせねばならぬ宿命にある当クラブに取って、非常に意義のある事かと存じます。

鈴木基一さんが、ガバナーにと話を持ち込まれた年度即ち、ガバナーノミニ宣言年度のクラブ会長、大塩直文さん、地区年次大会委員長、草野栄龍さんが故人となられましたので 大会幹事の森利男さんに御出席頂きました。

ガバナー年度のクラブ会長、城田正男さんはご存知の様にご病弱で今晚出席頂けません、約一年半に亘ってガバナー事務所を支えて下さった運営委員の方々、郡司昌佳さん、小滝信光さん、室井行男さん、関谷直人さん、小沢恒明さん、(本来なら小林正治さんが加わる所ですが過日他界されてしまい誠に残念です。心からご冥福をお祈り致す所であります。)



それから紅一点、名事務員としてその名を馳せた森悠子さんにおいでを頂きました。もうお一人古谷さんが年次大会担当事務員として三ヶ月程お手伝い頂きましたが、現在宇都宮居住と云う事ですので遠方の故お

声をかけませんでした。

最後に、すっかり弱く成りましたが、当時は酒豪をもって鳴らした三役、地区会計長の伊藤俊三さん、地区幹事、私鈴木伊勢松、そして今尚、存在価値の大変大きな鈴木基一PG、以上の方々に夫々思い出を語って頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。

まず最初に鈴木先生をガバナーにと話があった時、非常に戸惑った事を覚えていますが、その辺の事からお話を頂き最後に年次大会も我々が初めて試みた、ランチョンパーティー形式の大会が見事にうけ、多くのクラブの方達から大変な賞賛を頂いた事などにも触れながら話を進めて頂ければと思います。

鈴木PG 昭和57年1月9日、ガバナー指名委員会がホテルニュー板屋で開かれていたのです。夕方私の所へ大橋ガバナーから電話があり、一寸話があるから板屋迄来てくれと云うので出掛けて行ったのですが、指名委員会など一言もいってくれなかったので行って見て驚きました。PGが全員揃って居まして、1983～84年度のガバナーをやってくれないか、という話なのです。ガバナーなど一人で出来るものではありませんのでその場は返答せず、クラブの皆さんと一緒に成ってやって下さると言うなら受けますが、そうでない場合は受けませんと申し上げて参りました。

その時次の例会1月12日にガバナーと坂本PG二人でクラブに伺い、良く内容説明をし相談をするからと言って、板屋からガバナーが大塩会長の所へ電話を致しました。気持は大変重く帰路についたのですが、クラブの皆さんの御賛同を得まして、1月の17日下館のホテルニュートンで開かれた指名委員会に於て推薦を受け、3月1日確定

宣言を頂き、その日から第255地区ガバナーノミニーに成った訳です。そしてクラブの皆さんの大変な御協力と、その他多くの方々のお力添えを頂き無事ガバナーを務めさせて頂いた訳で大変感謝致しております。大塩、大橋ガバナーから電話で鈴木基一君に1983～84年度のガバナーを引き受けて欲しいのだが、クラブ員の同意を頂かねばならないので、今度の例会1月12日に私大橋と坂本PG二人で貴方のクラブにお伺いし、直接説明とお願いをしたいとの事でした。そのうち、お声が掛かるのではと想像は致して居りましたが、余り突然なので驚いて、小沢恒明幹事の所へ電話した記憶があります。

鈴木(伊) 最初ガバナーの指名を受けた時の驚き、そのうち、と予想はして居たものの僅か10年の若いクラブに、いきなりこうした大役、大任が廻って来ようとは夢にも思わず戸惑った事は事実です。実は大塩会長からの電話を受けて恒明さんが私の所に参りまして、当人に相談する訳にもゆかずどうしたら良いだろうか。

私の考えとして、バスト会長に集まって頂き意見を聞き、充分検討してみたいかどうかと申しました。



小沢 当時の記録には、例会前日の11日の晩、いとうにP会長、P幹事、役員、理事21名中、16名の出席者名、(欠席者5名)が記載され協議、賛成多数で引き受ける。但しクラブ員全員の賛成を得る事、近隣クラブの協力等確認する事、事務所協力員な

どをどうするか、等々、会費3000円で行った事に成っています。笑い

鈴木(伊) その時喧々囂々、色々な意見が出ました。しかし「折角のご指名です。大変名誉な事ではないですか、私はお引き受けすべきではないかと思えます。」と草野先生が申され、この一言で決まりました。

それにしても当人がどんな気持ちかを確かめようと鈴木先生に来てもらい、協議経過を話し、どうですかと問うたところ、皆さんが引き受けて下さるなら私はガバナーをやらせて頂きます。但し一つ条件があります。それは地区幹事鈴木伊勢松、会計長伊藤俊三でと来ちゃったんだよ。

森 私の記録には1月12日例会前に臨時理事会を開きましたが、坂本PGが、まずクラブの決議が必要です、と言われました。例会で提案して同意を得、理事会で決定する事とあります。



大塩 そうですね、私の記録でもそれで急遽例会をクラブ全体会議に切り替え、大橋ガバナー、坂本PGの話を伺いながら色々な事柄を協議した様になっています。

そして草野先生から機関車の話などあって全員の賛同が得られた訳です。

小滝 その後、13日の臨時理事会で事務所運営委員の選考など行い、郡司、小滝、小林正治、室井、関谷、小沢、と幹事経験者の若い人達が候補者になりました。

そして11日の会合の時に名前の上がっていた関谷さん、高野さんが月信担当と云う事だったので、指名された運営委員の中

で協議し決定する様な方向で話が進んだと記憶しているのですが。

室井 確か、さつきに集まって古山さん、土山さんにどの様な形で御協力頂くか協議した結果、古山さんは塩原からでは大変だろうから、一応何かの折には特段の御協力を願うと云う事で了解をとり、土山さんの場合もご年配だからと古山さんと同じ条件で御了解頂いた記憶がありますね



関谷 鈴木先生のご意見も伺った結果「皆さん多忙な方達に協力願うのだから、専属の事務員さんをお願いする事でもあり、月、火、水、木、金、土、と1日一人ずつ責任をもって詰めてくれれば六人で何とかやって行けるのではないか」と云うので、そんな方向で事務所運営を行うべく押し進めたのでしたね。

郡司 皆で事務員さんの募集をどうするか話し合った時、森利男さんから、私の親戚に教員を退職し、家庭主婦として現在臨時的に産休教師の代役などして居り、無理にお願いすれば引き受けてくれるかも？との事で悠子さんをお願いする事に成ったんですよね。大変優秀なピカーの素晴らしい事務員さんを引き当てたんで助かりました。

森悠子 ロータリーの事を知らないから、普通の事務だと思って、いいですよなどと返事をしてしまったのですが、内容を知って居たらお断りして居たでしょうね。笑い。

鈴木(伊) この辺で今度はノミニエー時代の苦労話をして頂きましょう。

伊藤 下館の、つたやで行われた第一回目

の地区の会議に三人で行った記憶があるんですが、あれは諮問委員会でしたか、伊勢松さんと二人で別室で小さく成って待っていて、呼びに来られて皆の所へ行ったんだよなー。

それから、先生も伊勢松さんも欠席で私一人、心細い思いをして出席した記憶もあります。帰り大橋ガバナーを乗せて帰った事など鮮明に思い出します。

森 6月22日龍鳳閣で臨時理事会を開き、ガバナー事務所協力金を一人半期5000円づつ三年間協力する事を審議し、最終例会6月29日クラブ全体会議に切り替えてこの事を決めた事に成っています。

伊藤. そうそう、旧第一分区内各クラブからも年間一人5000円を御協力頂いたのでしたね。



郡司 あの年度合唱団の周年記念で、フィリピン、バラニアックに少年少女合唱団を連れて訪問演奏会に行き、ホームステイ等しての帰り爆弾騒ぎで一端飛び立った飛行機が又空港迄戻らねばならず、飛行場で皆、沈み込んでいた時、子供達の合唱で大変喜ばれた事を思い出します。

鈴木(伊) ノミニー当時は随分三人で苦勞したよなー、会議と云う会議には全部出席し、種々勉強致しました。

ニュー岡部での会議の時だよ、我々三人誰も歌が唱えず、駄目だと言って断ったら大塚地区幹事から、歌の一つも唱えずに地区幹事が務まるか、なんてハッパをかけられたよなー これは記録になど載せないでく

れよ。笑い。

室井 それはそうでしょう。大酒ばかり食らって事を済そうなんて魂胆、虫が良すぎるもん。笑い。



伊藤 先輩役員の皆さんには我々精神誠意尽しながら色々と指導を受け、教わったよねー それが又、あの様にガバナー年度に協力を得られる事に繋がったのだと思うね。有難い事でした。

鈴木(伊) この辺で今度は協力員(事務所運営委員)の話聞かせて下さい。悠子さん大変骨が折れたでしょう。

森悠子 仕事が始まる迄、先生が国際協議会に出発する迄は、ノミニーに色々教わる程度で後は居眠りしてました。

室井 そんな事ないよ。ノミニー時代は我々より一番大変だったのは悠子さんでしたよ。



森悠子 ロータリーの事は何にも知らなかったから一つ一つ教わって、言われた通りやっていただけなんです、皆さん親切に教えて下さったので助かりました。

それにロータリーの皆さん電話のやりとりも丁寧で、ロータリーの中味よりも社会勉強をさせて頂きました。

鈴木(伊) 皆さんにこの様な大変な協力を頂

く事は二度と出来ないのでは無いかと思いますが、協力員の皆さんに夫々分担を決めましたね。その辺の話を一つ聞かせて下さい。

関谷 小滝さんの担当した部門、ガバナー公式訪問に合せて訪問クラブへ先生をお送りする当番の割り振り、そして車の手配などありましたね。

小滝 我々も足利、日立等と何回か出掛けましたが、クラブ員皆さん心よく頼みを聞いて下さって随分遠方迄出向いてくれました。当番は一人の時もありましたし、二人の時もありました。



鈴木(伊) 関谷さん月信担当で大変だったでしょう。

関谷 その能力も無いのに仰せつかった仕事でしたが、スタッフ全員の協力でなんとかやり通せました。

小滝 月信づくりは大変だったけれど今になって思えば、皆でやった月信づくりは楽しかったですね。

小沢 先生も夜遅く成ってから在宅の時は必ず顔を出してくれていましたしね。

鈴木(伊) 先生この辺で何か御座居ませんか。

鈴木PG 皆さんの話を聞かせて頂いてます。

鈴木(伊) 関谷さん月信づくりでは原稿の書き直しなど苦労しましたね。

関谷 月信総集編の各クラブ活動報告書地区内全クラブの原稿書き直しをやりました。

悠子さんからはハッパかけられるしね。

室井 そうそう、この頃になると悠子さん

の方が、我々よりロータリーの事明るくなっちゃって。

伊藤 僕は悠子さんに糖尿を発見してもらったよ、助かった。あの時発見出来なかったら今頃生きて居なかったな。笑い。

森悠子 そうそう事務所へ来て寝転んでばかりいたので変だなと思ったの。

鈴木(伊) 室井さんは？

関谷 会計長補佐だったんです。名経理担当者だったから伊藤さん楽が出来たんですよ。笑い。

鈴木(伊) 小林正治さんは全体的統括だったかな

小沢 全体的統括者は郡司昌佳さんでした。

郡司 私は何もせずで面目無いよ。

伊藤 いやいや来る度に気を使って必ず何か差し入れなどしてくれて有難かった。

鈴木(伊) 月火水木金土と六名の担当者が毎日1時間でも2時間でも顔出しする事で、その務めを果たして頂いて、我々はフリーで顔出しする法式は巧くローテーションしたですねえ。

小滝 我々毎日事務所に入り浸って悠子さんかえって迷惑だったんじゃないですか。

伊藤 全員やる事もやったけど、飲むのもよく飲んだよなあー、だから皆一生懸命やれたんだ。

室井 事務所には色々な電話がよくかかって来たねえー、三役の留守の時など我々で手続要覧を読んでなんとかゴマカシておいたけど。笑い

鈴木(伊) 私の記憶に強烈に残っているのは、三人揃って水戸クラブへ第一番に公式訪問に行った時ノミニー時代には先生が緊張されて居るなと感じた事はなかったのですが、この日は非常に緊張してらした。

ノミニー時代月に2～3回は通った水戸への道ですが、運転していた私にピリピリ伝

って来ました。そうでしょう初めての公式訪問が、粒揃いの水戸クラブですから、どうなる事かと俊ちゃんと二人心配しながら参りました。

常陽銀行の五階でしたが、昼食は鮎の実に美味しい弁当でした。今でもはっきり覚えています。笑い。

例会が始まりました。岡崎P Gが一番前の席に頑張っている。先生の心中や如何にと気が気ではなかった。ところが、先生、私の生地黒羽と水戸とは那珂川で結ばれています、と始まった記念講演実に素晴らしい内容の話で二人して安堵の胸をなで下したものです。

伊藤 この様な場合P Gが目の前に居られると新任ガバナーは何かとやりずらいので、先生は以来公式訪問の折、そっと末席に座り、協議会には遠慮して出ない様にしていらっしゃる一種の思いやりですね。

鈴木P G そうです。



鈴木(伊) それで二人共安心して、クラブ協議会が始まる前、失礼して江幡P G、田中P Gの所を表敬訪問して帰って来ました。

伊藤 当時は公式訪問の折、地区幹事、会計長が、会長、幹事会に同席すると云う事は全くなかったのですが、近頃は時々同席する事がある様ですね。

鈴木P G それはガバナーの考え次第です。

伊藤 地区協議会の時だったと思いますが、衣笠ガバナーもその席、会長幹事部門の勉強会に列席して居られました。その場で質

問が出て、衣笠年度、経費の算出方法として、総て入金にして人数で割ると年間の経費が出ると云うやり方を実施する様にと指導がありました。鈴木年度はどうか？と会計長として非常に困ったのですが先生から何も聞いて居ないし、突然の予期せぬ質問だったので咄嗟に、衣笠さんは公認会計士だけれども、今度の鈴木さんは産婦人科のお医者さんだから、そんな事は問題にして居ませんと言ったら皆から拍手喝采を受けた事がありました。

鈴木(伊) 予定時間も大分経過致しました。この辺で年次大会について話して頂きましょう。

鈴木P G 私はあの印象深い年次大会を皆さんの力で立派にやって頂いて大変感謝致して居ります。今だに各年度の年次大会が近づいて参りますと、西那須で行った年次大会は本当に素晴らしかったと語り草になっています。

それから私が、アジアの将来を考えると云うテーマのタウンミーティングを行った事が、今現実に四ヶ国の親善会議になって生まれ今年が四回目、今度マニラで行われる事に成っていますが、各国持廻りに成ってしまして、一番最初が日本でやって、その次が台湾、韓国、マニラそして又日本に来ると思いますが、この事が現実の事に成ったと云う事は大変良かったと思っています。

尚この事について大会後、坂本P Gが年次大会記録に書いて居られますが、これが総てではないかと思っています。それからR I会長代理、ヘンダーソン氏が喜ばれたのが樽酒の鏡開きと、餅つきでしたが、外国人には非常に興味深かった様です。

氣くばりの成果随所に

R I第255地区バスターガバナー 坂本 守
わが255地区年次大会は地区内外のロー

タリアンとその家族3千余名の参加を得、湯の里塩原において名実共に盛大に開催されました。例年ならば八汐つつじが咲き誇り、山桜のつばみも色付く頃である筈のところ、異常気象のお陰で全山冬枯れのままの姿にとり囲まれたのには一寸寂しくもあり、残念でもありました。しかしながら、鈴木ガバナーが大会の目的に添って熱意をこめて周到に計画された独特のプログラムは参加者に多大の感銘と満足感を与え大成功であったと確信いたします。

黒川博士の「ガンについて」と題された記念講演と、日韓台比、のバストガバナーによるタウンミーティングが狂巻でした。米寿を迎えられた老先生が壇上に立たれたまま2時間近くも貴重なお話を続けられたのには唯々感服いたし頭の下がる思いでございました。またパネリストがインターナショナルでR. I. の元役員といった未だかつて例をみないディスカッションには地区の会員諸君も興味深く耳を傾けたことでしょう。格調高き韓国の伝統音楽と舞踊、素朴で美しく清純な少年少女の合唱は共にロータリー大会のアトラクションに相応しい真摯なものでありました。

次にご馳走について一言。第一日夕の希望晩餐会は、会するもの5百余名、第二日昼のガバナーズアワーと銘打ったランチョンパーティーは千余名のお客さまであったそうです。鈴木ガバナーが最も意を用いたのは、この会食の方々に折角準備した山海のご馳走を余すところなく満喫してもらうことであったと聞き及んでおります。前夜の配膳による日本式会食と和洋混交の盛り沢山のパーティー、鏡開き、餅つきなど日本の奇妙な風習を垣間みて青い目の会長代理ご夫妻はさぞや驚いたり喜んだりなさったことでしょう。ガバナーの細かい気配り

の成果は随所に滲み出ており、会食者はゆっくりと充分にご馳走を味わうことができました。

さて今回の大会は総じてガバナーのお人柄そのものをもれなく顕現した、お世辞抜き立派な大会で大成功であったと思います。予想通りの成果にガバナーは定めし満足であったでありましょう。しかしこの成功の陰には西那須野クラブの会員及びご家族の皆さんの溢れる善意と思いやりと絶大なご協力のあったことを忘れてはならないと思います。鈴木ガバナー、本当におめでとう。(地区年次大会記録より)

鈴木(伊) 大会について分担割振りを致しましたが他クラブの年次大会の場合大概コホストを作って協力を頂いて居ますが、当クラブでは過去の経験から単独で行った方が継まりが良いと云う事で、近隣クラブには誠に申訳なかったのですが単独で行った訳です。

その代り、一致団結統制のとれた大会が出来ました。これは単独であったが故の効果ではなかったかと思えます。それだけに皆さんにはご苦勞かけました。

鈴木PG 当クラブの場合、コホストを頼むとしますと3クラブをお願いせねばならぬ立場にあり複数クラブの応援を頂く為には打合せ会議から始まって、時間的ロス、経済的負担等で非常に難しくなる事等を開案して最初から果敢で行こうと腹を決めていたのです。

森 あの頃は自分達で年次大会を行う為には、クラブに力をつけねばと皆さん一生懸命に会員増強を行った。何かの目標に向かって努力している時にはクラブにそれなりの勢いが生ずる。そんな時が一番美しく、又輝いて居る時ですね。

鈴木(伊) この辺で大会当日の失敗談などと

参りましょうか。

室井 それは悠子さんになるでしょう。

鈴木(伊) 韓国の李方子妃殿下の慈行会から100万円の寄付依頼があったのですが、当方で、出すとも出さないとも言っているのに、P. G方炫さん早とちりして感謝状を持って来ちゃって慌てさせられたね。諮問委員会を聞いている時間は無いし、仕方なく各諮問委員の先生方が休憩室に見えた時に、一人一人事情を話して了解をとって廻り、やっと間に合せた件など今思い出しても冷や汗ものです。



室井 R I会長代理のヘンダーソンと知り合の仲だから是非逢いたいと前日から泊りこみ、3晩も泊って登録料は疎か、祝儀も置かず、挙げ句の果てにヘンダーソン違っていたと言って帰って行ったP G. K氏が居ましたね。

森 そうそうあれにはやられました。何回か謎をかけて見たけれど反応無しでした。笑い

鈴木(伊) 米山寄付優秀クラブの10傑の表彰を行う運びに成った時、土浦クラブから、内のクラブは必ず10番以内に入って居るはずであるのにと問い合わせがあり悠さんは絶対にそんな事ないと言い張って、事務所まで資料を取りに来て調べたところが余りにも数字が段突にズバ抜けていたので別扱にして引き出しにしまいこんだまま忘れてしまっていて……そこで10番目に位した玉造クラブが11位に順送りになり表彰圏外に落ちると云うので大会幹事と二人して平身

低頭、詫びに詫びていた所、星野泰三さんが通りかかり、「やってる、やってる」とひやかされたり間違いの一つや二つあって当たり前なんだよと慰められたりで大変だったよ。

森 慰めと言え、バーベリーさんが前日、R I会長代理夫妻を案内して日光の陽明門を見学の時バスガイドの説明に、物事、完全無欠と云う事は有り得ない。故に陽明門の四本柱は故意に一本を逆柱にしてあるのだとの話を聞いて来た。無理に欠陥を作る日本のしきたりがあるのだから一つや二つ間違いがあっても心配しなさんな、気にしない気にしないと慰められたんですよ。



鈴木(伊) あれだけ大きな大会になると、なかなか完全にとは行かない様ですがとにかく大成功のうちに無事終了出来た年次大会でした。

一度あの様な(ノミニー、ガバナー)年度を通した大事業を成し遂げて見ますと、会員自身それなりの自信と力がつくものです。何時第二のガバナー指名が参りましても会員が挙ってその気になれば、必ず立派にやっのけられると確信致すものであります。予定時間を大分経過致しましたのでこの辺で座談会を閉じ後は懇親の場に移し又、話を続けて頂きたいと思ひます。今晚はどうも有難う御座居ました。

各年度例会プログラム（5ヶ年）

プログラム（岡部年度）

例 会 日	通 算 回 数 (年 度 回 数)	内 容	担 当
61. 7. 1	739 (1)	クラブ会長就任挨拶 クラブ認証状 定款細則、財産目録引継 クラブ幹事就任挨拶 分区代理挨拶 委嘱状の授与 新入会員紹介挨拶	岡部 稔 手塚 徳次 岡部 稔 鈴木 道雄 金子 新一 井上 正夫 富田 勤 村上 善英
7. 8	740 (2)	クラブ副会長並びにクラブ奉仕委員長就任挨拶 職業奉仕委員長就任挨拶 社会奉仕 * * 国際奉仕 * * 会員卓話 ガバナー公式訪問について * 米山記念奨学会の新プランについて * 拡大セミナーに参加して	小林 正治 小滝 信光 宮 利男 君島 六郎 情報委員長 城田 正男 P、G 鈴木 基一 P、G 鈴木 基一
7. 15	741 (3)	ガバナー公式訪問	ガバナー 小竹 俊夫
7. 25	742 (4)	桃園扶輪社 李伝滄バストガバナー並びに桃園児童 合唱団、管、鄭周先生歓迎例会	岡部 稔 城田 正男
7. 29	743 (5)	クラブ15周年式典について	実行委員長 鈴木 基一
8. 5	744 (6)	会員卓話 町政について 新入会員挨拶	西郡須野町長 高野 三郎 新入会員 鍋木 文夫
8. 12	745 (7)	クラブ15周年について 各担当委員長より報告	佐藤 悦郎
8. 19	746 (8)	高槻沢町 キリンビール工場見学 (10月の職業奉仕月間は15周年式典と重なるため)	小滝 信光
8. 26	747 (9)	クラブ15周年記念式典について	クラブ協議会 鈴木伊勢松
9. 2	748 (10)	富田勤君 ボールハリスフェロー表彰状伝達式 外來卓話 黒磯ロータリーアクトクラブについて	P、G 鈴木 基一 会 長 五十嵐順一
9. 9	749 (11)	会員卓話 青少年活動奉仕研究会報告 クラブ協議会 15周年記念式典について	小林 正一 実行委員長
9. 16	750 (12)	会員卓話 クラブ奉仕委員長会議報告 * 国際奉仕 * 外來卓話 西郡須野少年少女合唱団について	小林 正治 君島 六郎 副団長 及川 和子
9. 30	751 (13)	桃園 R、C 創立25周年記念式典訪問について	君島 六郎
10. 6	752 (14)	西郡須野 R、C 創立15周年記念式典	
10. 14	753 (15)	会員卓話 15周年記念式典実行委員長挨拶 * 地区協議会職業奉仕部門より	鈴木 基一 小滝 信光
10. 21	754 (16)	外來卓話 米山記念奨学会について	地区委員長 佐藤 二郎
10. 28	755 (17)	外來卓話 R財団大学課程奨学生 桃園 R、C 25周年記念式典参加者送行会並びに15周年記念式典慰労会	津古 靖
11. 4	756 (18)	桃園 R、C 25周年記念式典参加に当たって	君島 六郎
11. 11	757 (19)	桃園 R、C 25周年記念式典に参加して	P、G 鈴木 基一
11. 18	758 (20)	会員卓話「ポリオプラス」キャンペーン	R財団委員長 深尾 賢一
11. 25	759 (21)	元泉館落成祝賀懇親会	君島 六郎

例 会 日	通 算 回 数 (年 度 回 数)	内 容	登 録 者
61. 12. 2	760 (22)	会員卓話 冬を越えるに当たっての健康管理	大塚 直文
12. 9	761 (23)	草野栄龍会員追悼例会 町長 高野 三郎 P.G 鈴木 基一 森 利男、草野 知明	
12. 16	762 (24)	年次総会 (於 いとう) 開会宣言、総会成立宣言、会長挨拶 直前会長、幹事表彰 直前会長謝辞 + 幹事 + 次期会長挨拶 + 理事代表挨拶	岡部 稔 手塚 徳次 佐々木 栄緑 小林 正治 井上 正夫
12. 23	763 (25)	会員卓話 日比スポーツ青少年交換報告	富田 勲
12. 30	764 (26)	前期を振り返って	岡部 稔
62. 1. 6	765 (27)	新入会員紹介挨拶	森 秀雄、田代 民
1. 13	766 (28)	会員卓話 七草の話	佐藤 悦郎
1. 20	767 (29)	新年家族会	渡辺 邦男
1. 27	768 (30)	会員卓話 インド仏蹟を巡礼して	金子 哲也
2. 3	769 (31)	会員卓話 炉辺会合について	城田 正男
2. 10	770 (32)	会員卓話 「畳」のはなし	森 利男
2. 17	771 (33)	つくば学園 R.C チャーターナイト参加報告	君島 久造、森 秀雄
2. 24	772 (34)	外来卓話 世界理解月間によせて 炉辺会合報告	地区WCS委員長 鈴木 和雄 各グループリーダー
3. 3	773 (35)	会員卓話 「ひな祭り」について	戸田 白鳳
3. 10	774 (36)	会員卓話 第一分区第14回 IGFに参加して	鍋木 文夫、田代 民
3. 17	775 (37)	外来卓話 「電気」	東電大田原営業所長 永田 英吉
3. 24	776 (38)	外来卓話 塩原町について	町長 坂内半之助
3. 31	777 (39)	外来卓話 米山記念奨学金について 会員卓話 「眼とメガネ」について	P.G 湯原竹之助 薄葉 忠
4. 7	778 (40)	新入会員紹介挨拶 年次大会報告	谷黒 克守 中里 正
4. 17	779 (41)	会員卓話 雑誌月間について 年次大会報告	宮 利男、鈴木伊勢松 大野 千里
4. 21	780 (42)	新入会員紹介挨拶 臨時総会 会費及会場変更の件	議長 羽下 浩司 岡部 稔
4. 27	781 (43)	黒羽 R.C と合同例会 (於 ホテルニュー塩原) 外来卓話	渡辺 興平
5. 12	782 (44)	米山記念奨学生紹介 2名 御礼挨拶	塩原町観光協会長 岡部 稔 田代 義徳
5. 19	783 (45)	地区協議会報告	小林 正治、森 透
5. 26	784 (46)	会員卓話 「エイズについて」 ミュンヘン国際大会参加者送行会	富田 勲 岡部 稔
6. 2	785 (47)	会員卓話 「神社庁について」	秋元 正
6. 9	786 (48)	会員卓話 「地区委員として」	井上 正夫
6. 16	787 (49)	会員卓話 「ミュンヘン国際大会」	鈴木 基一 他
6. 23	788 (50)	会員卓話 「地区委員として」	富田 勲
6. 30	789 (51)	最終例会 会長・幹事の退任挨拶	岡部 稔、鈴木 道雄

プログラム (小林年度)

例会日	通算回数 (年度回数)	内 容	
62. 7 7	790 (1)	クラブ会長就任挨拶 クラブ認証状 定款細則、財産目録引継 クラブ幹事就任挨拶	小林 正治 岡部 稔 小林 正治 室井 行男
7. 14	791 (2)	クラブ副会長並びにクラブ奉仕委員長就任挨拶 社会奉仕委員長就任挨拶 ボールハリスフェロー授与式 (金子哲也君) 会員卓話「雑誌、広報の合同セミナーに出席して」	P G 関谷 直人 渡辺 邦男 鈴木 基一 菊地 孝一
7 21	792 (3)	ガバナー公式訪問記録集について 分区代理就任挨拶	小林 正治 蓬見 強
7 28	793 (4)	クラブ協議会「ガバナー公式訪問について」	井上 正夫
8 4	794 (5)	ガバナー公式訪問	ガバナー 板橋 敏雄
8 11	795 (6)	会員卓話「インドと草野和尚について」	金子 哲也
8 18	796 (7)	会員卓話「ガバナー公式訪問を終えて」 3分間ミニ卓話「私の職場の明るい出来事」	手塚 徳次 宮 利男
8. 25	797 (8)	255地区第1回合同会長・幹事会報告	小林 正治、室井 行男
9. 1	798 (9)	「三森名誉会員の米寿を祝して」記念品贈呈 外来卓話「町の社会福祉の現況」西那須野町社会福祉協議会会長	関谷 直人 小林 剛
9. 8	799 (10)	米山功労者授賞式 (君島 隣君) 青少年奉仕活動研究会報告 クラブ奉仕委員長セミナー報告 3分間ミニ卓話「私の職場の明るい話題」	小林 正治 笹沼 幸雄 関谷 直人 大野 千里
9 22	800 (11)	800回記念例会卓話「R. I 会長ケラー氏の講演から」	P. G 鈴木 基一
9. 29	801 (12)	国際奉仕委員長会議報告 フリートーク	佐藤 正一
10 6	802 (13)	外来卓話「アジア学院奨学生」 会員卓話「米山記念奨学会について」	地区委員 コルモ・エラ 森 利男
10 13	803 (14)	会員卓話「米山月間について」	中里 正
10 20	804 (15)	職場訪問「塩原C C」 会員卓話「ゴルフ界について」 台湾桃園 R. C 来西挨拶	会長 深尾 賢一 孤塚 敏雄 橋 敏盛
10 27	805 (16)	R I 会長賞伝達式 (岡部 稔君) 外来卓話 日本プレシジョンサーキット御 新入会員入会挨拶	代表取締役 小林 正治 井上 敦 根本 隆男
11 10	806 (17)	会員卓話「中国出張」	富田 勤
11 17	807 (18)	会員卓話「財団月間にあたって」 * 「財団月間によせて」	P G 西山 公昭 鈴木 基一
11 24	808 (19)	クラブ協議会「炉辺会合報告、ロータリー研究」	井上 正夫
12 1	809 (20)	アジア学院米山奨学生からのお礼	コルモ・エラ ロベルト・ダリサイ
12. 8	810 (21)	外来卓話「町誌編さんについて」西那須野町教育委員会 クラブ協議会「I. G F 実行委員会編成について」実行委員長	磯 忍 鈴木伊勢松
12. 15	811 (22)	年次総会 (於 いたう) 開会宣言、総会成立宣言、会長挨拶 直前会長、幹事表彰 直前会長謝辞 直前幹事謝辞 次期会長挨拶 次期理事代表挨拶	小林 正治 岡部 稔 鈴木 道雄 関谷 直人 佐々木栄緑

例会日	通算回数 (年度回数)	内 容	名 称
62 12 22	812 (23)	会員卓話「芸能界裏話」 3分間ミニ卓話「宗教という言葉」	三森 美夫 西山 公昭
12. 29	813 (24)	「前期を顧みて」 米山奨学会より感謝状贈呈	小林 正治 森 利男、城田 正男
63. 1. 5	814 (25)	年頭の挨拶	小林 正治
1. 12	815 (26)	外来卓話「桃園市を訪問して」西那須野少年少女合唱団副団長 会員卓話「観劇会の感想」	及川 和子 大森 仁能
1 19	816 (27)	委嘱状伝達式(地区役員) 橋本第1分区代理 財団並びに奉仕委員 会員卓話「自分の職業について」 3分間ミニ卓話「建築造園の役割」	鈴木伊勢松 岡部 稔 谷川 克守 鈴木 道雄
1. 26	817 (28)	委員会報告 I G F 実行委員会 新年家族例会	委員長 鈴木伊勢松
2. 2	818 (29)	新入会員入会挨拶 各委員会報告	一木 純雄
2. 9	819 (30)	会員卓話「ロータリー情報セミナー報告」 * 「情報委員長部門」 * 「広報委員長部門」	関谷 直人 井上 正夫 伊藤 義明
2 16	820 (31)	クラブ協議会 会員卓話「I G F とは」 I G F の準備と役割分担について 「世界理解月間について」	井上 正夫 鈴木伊勢松 情報委員会
2. 23	821 (32)	ロータリー創立記念日 「ポール・ハリスについて」 「創立記念日について」	小林 正治 井上 正夫
3. 1	822 (33)	東水原 R C を迎えて 「歓迎の言葉」 「5周年式典招請」	小林 正治 梁 元載
3. 8	823 (34)	会員卓話「ポリオ・プラス月間について」 委員会報告「炉辺会合について」	佐々木榮緑 井上 正夫
3. 15	824 (35)	会員卓話「フィリピン矯正施設視察団に参加して」	福本 治夫
3 22	825 (36)	会員卓話「会社概況と建設業界の環境について」	斎藤 豊吉
3 29	826 (37)	新入会員入会挨拶 訪台団社行会	小池 一徳
4. 5	827 (38)	フリートーキング	
4 12	828 (39)	訪台団帰国報告 * 国際奉仕委員長 * 青少年奉仕委員長	小林 正治 佐藤 正一 笹沼 幸雄
4. 19	829 (40)	会員卓話「雑誌月間について」 * 「G, S, E についてお願い」	菊地 孝一 田中 保
4. 26	830 (41)	G, S, E 東西挨拶 会員卓話「お国柄の違い」 * 「炉辺会合報告」	マレー・クルーガー 井上 正夫
5. 10	831 (42)	外来卓話「フィリピンテニス交換に参加して」 * 「フィリピンで過ごした6日間」	岡部真由美 佐藤 和之
5. 20	832 (43)	黒羽との合同例会 外来卓話「ロータリーのうらばなし」	R I 日本支局長 拙冬 忠
5 24	833 (44)	東水原 R, C 訪問団社行会	
5 31	834 (45)	訪韓団帰国報告	小林 正治、関谷 直人 佐藤 正一

例会日	通算回数 (年度回数)	内 容
63. 6. 7	835 (46)	地区協議会報告 小滝 信光、高橋 智純、大野 千里
6. 14	836 (47)	会員卓話「ヨーロッパ研修で感じたこと」 亀田 貞夫
6. 21	837 (48)	会員卓話「日本の農業について」 伊藤 義明
6. 28	838 (49)	最終例会 会長退任挨拶 小林 正治 幹事退任挨拶 室井 行男

プログラム（関谷年度）

例会日	通算回数 (年度回数)	内 容
63. 7. 5	839 (1)	クラブ会長就任挨拶 関谷 直人 クラブ認証状 定款細則、財産目録引継 小林 正治 クラブ幹事就任挨拶 池嶋 英哲 新入会員入会挨拶 小阪 正善 87～88年度会計報告 小林 正治
7. 12	840 (2)	クラブ副会長並びにクラブ奉仕委員長就任挨拶 小滝 信光 ロータリー財団情報並びに増進委員就任挨拶 岡部 稔 分区代理就任挨拶 鈴木伊勢松
7. 19	841 (3)	職業奉仕研究会出席報告 渡辺 一郎 米山奨学生北関東学友会総会出席報告 伊藤 俊三
7. 26	842 (4)	会員増強拡大特別委員会設置 会員卓話「ガバナー公式訪問について」 手塚 徳次 会員卓話「I.C 産業の現状について」 一木 純雄
8. 2	843 (5)	会員卓話「少年少女合唱団活動計画会議に出席して」 富田 勳
8. 9	844 (6)	ガバナー公式訪問 ガバナー 平輪 憲治
8. 16	845 (7)	会員卓話「ガバナー公式訪問所感」 根本 隆男 会員卓話「会員増強月間」 小林 正治
8. 23	846 (8)	マルチプル・ボールハリス・フェロー授与式 城田正男、岡部 稔 納涼例会 P、G 鈴木 基一
8. 30	847 (9)	会員卓話「相互銀行の普銀転換について」 田中 保 米山功労クラブ表彰状及びメダル授与
9. 6	848 (10)	会員卓話「出席の意義」 手塚 徳次 栃木県少年の主張発表部須地区大会出席報告 関谷 直人
9. 13	849 (11)	会員卓話「青少年活動月間によせて」 富田 勳
9. 20	850 (12)	ゴルフ例会 会員卓話「ゴルフのルールについて」 小林 正治
9. 27	851 (13)	地区ロータリー情報セミナー出席報告 小滝 信光 会員卓話「那須地区身障者スポーツ大会を終了して」 君島 六郎 新ボールハリスフェロー授与式 P、G 鈴木 基一 小林正一・宮 利男・佐藤正一・森 秀雄
10. 4	852 (14)	米山委員長会出席報告 鍋木 文夫 地区情報セミナー出席報告 伊藤 祐藏 雑誌委員長分科会出席報告 田中 俊彦 新入会員入会挨拶 大原 栄
10. 11	853 (15)	外来卓話「メディカルソーシャルワーカー」大田原赤十字病院 阿久津加奈
10. 16	854 (16)	会員卓話「伊勢神宮式年遷宮について」 秋元 正
10. 25	855 (17)	会員卓話「我が町の商工業の現況」 小池 保

例 会 日	通算回数 (年度回数)	内 容	
11. 1	856 (18)	会員卓話「飛天供養・雅楽回郷・友好訪中団に参加して」	金子 哲也
11. 8	857 (19)	第10回ライラセミナー出席報告 外來卓話「ライラセミナーに参加して」 会員卓話「食生活について」	大根田みどり、 関谷 直人 松村 文子 富田 勲
11. 15 ～16	858 (20)	会員卓話「大津R.Cを訪問して」 親睦旅行、職場訪問、サッポロビール群馬工場	森 利男
11. 22	859 (21)	会員卓話「ロータリー財団月間に因んで」 * 「ロータリー財団について」 * 「ロータリー財団一般寄付について」	地区委員 P.G 宮 利男 鈴木 基一 岡部 稔
11. 29	860 (22)	会員卓話「町政について」	高野 三部
12. 6	861 (23)	クラブ協議会「初迎会合のまとめ」 外來卓話「親睦旅行随時記」 会員卓話「フィリピンとのテニス親善交換を終えて」	大野州新聞 手塚 徳次 石田 清 富田 勲
12. 13	862 (24)	地区社会奉仕活動研究会参加報告 会員卓話「西那須野ロータリークラブ誕生の頃」	P.G 高橋 智純 鈴木 基一
12. 20	863 (25)	米山奨学会より感謝状贈呈 カウンセラー 伊藤俊三・小林正治 年次総会(於いとう) 開会宣言・総会成立宣言・会長挨拶 直前会長・幹事へ感謝状贈呈 直前会長謝辞 直前幹事謝辞 次期次期会長挨拶 次期理事代表挨拶	分区代理 鈴木伊勢松 関谷 直人 小林 正治 室井 行男 富田 勲 森 秀雄
12. 27	864 (26)	西那須野町へ歳末助け合い寄付金贈呈	関谷 直人
64. 1. 3	865 (27)	新春例会(於いとう) 交換留学生歓迎会 年頭の挨拶 交換留学生歓迎挨拶 交換留学生団長挨拶	関谷 直人 イアン・ペドラー
平成1. 1. 10	866 (28)	外來卓話「塩原町の現況及び北那須地域の今後」	塩原町長 坂内半之助
1. 17	867 (29)	R.N.N(ロータリーニュースネットワーク)ビデオ視聴	
1. 24	868 (30)	クラブ協議会「年度末迄の計画について」 各奉仕委員長報告	関谷 直人
1. 31	869 (31)	会員卓話「私の履歴について」 地区委員委嘱状伝達式 地区青少年奉仕並びにライラ委員 地区米山奨学生並びに学友委員	P.G 大原 栄 鈴木 基一 伊藤 俊三 小林 正治
2. 7	870 (32)	会員卓話「世界理解月間について」	手塚 徳次
2. 14	871 (33)	外來卓話「消費税について」	大田原税務署長 柳沢 正則
2. 19		I.G.F 黒磯市文化会館	
2. 21	872 (34)	外來卓話「蛇尾川揚水発電所建設について」 東京電力株蛇尾川水力総建所長	林 七郎
2. 26		親睦奥様観劇会 帝国劇場 浅草寺参詣	
2. 28	873 (35)	会員卓話「I.G.Fに参加して」 会員卓話「奥様観劇会に同伴して」	小池 一徳 森 利男
3. 7	874 (36)	会員卓話「彼岸に因んで」	大森 仁龍
3. 14	875 (37)	会員卓話「ボリオ・プラス月間によせて」	森 透
3. 28	876 (38)	外來卓話「相談窓口から見た環境変化」足利経営センター所長	榎本 倉次
3. 28		中・日・韓姉妹クラブ青少年少女台湾訪問	

例会日	通算回数 (年度回数)	内 容	内 容
平成1. 4 4	877 (39)	西郡須野 R. C.、黒羽 R. C 合同例会 新会員 入会挨拶 会員卓話「ロータリーの職業奉仕について」 G. S. E 相馬政二君の壮行会	石島 祐雄 P. G 鈴木 基一
4. 11	878 (40)	会員卓話「中・日・韓姉妹クラブ青少年少女台湾訪問を終えて」	富田 勲
4. 18	879 (41)	米山奨学生紹介と挨拶 学生 アジア学院 菊地 英男 学生 プスタマンテ・ダニロ・ラバカナクルツ 学生 ウエイサング・アルニ	
4. 25	880 (42)	会員卓話「雑誌月間によせて」 会員卓話「年次大会について」	田中 俊彦 手塚 徳次
4. 29 ～30		年次大会参加 茨城県神栖町文化会館 意義ある業績賞受賞	
5. 2	881 (43)	会員卓話「年次大会に参加して」	薄業 忠
5. 9	882 (44)	臨時総会 消費税実施による会費増額について ソウル国際大会参加者壮行会	関谷 直人
5. 16	883 (45)	会員卓話「年次大会に参加して」	大島 静夫
5. 23	884 (46)	ソウル国際大会参加報告	小滝 信光
5. 30	885 (47)	外来卓話「G. S. E 研修帰朝報告」	相馬 政二
6. 6	886 (48)	地区協議会参加報告 次期地区青少年奉仕並びにライラ担当委員 次期地区米山奨学会担当委員	伊藤 俊三 小林 正治
6. 13	887 (49)	会員卓話「米山奨学会について」 地区協議会参加報告 次期会長部門 次期幹事部門 次期クラブ奉仕部門 次期職業奉仕部門	P. G 鈴木 基一 小滝 信光 薄業 忠 富田 勲 森 秀雄
6. 20	888 (50)	地区協議会参加報告 次期社会奉仕部門 次期国際奉仕部門 次期ロータリー財団部門 次期米山奨学会部門	小沢 恒明 田代 民 一木 純雄 小林 正一
6. 27	889 (51)	最終例会 会長退任挨拶 分区代理退任挨拶 幹事退任挨拶	関谷 直人 鈴木 伊勢松 池嶋 英哲

プログラム（小滝年度）

例会日	通算回数 (年度回数)	内 容	内 容
平成1. 7 4	890 (1)	会長就任挨拶 幹事就任挨拶 クラブ認証状、定款権則 財産目録、引継 新入会員入会式	小滝 信光 薄業 忠 関谷 直人 吉川 和夫
7. 11	891 (2)	1989～90年度地区委員 委嘱状伝達式 退会挨拶	伊藤 俊三、小林 正治 田中 操
7. 18	892 (3)	委員長就任挨拶	クラブ奉仕 富田 勲 職業奉仕 森 秀雄 社会奉仕 小沢 恒明

例会日	通年回数 (年度回数)	内 容	客
平成1.7.25	893 (4)	委員長就任挨拶	国際奉仕 田代 民
8 1	894 (5)	新入会員入会式 会員増強及拡大月間によせて 青少年奉仕活動研究会報告	桐花 武夫 室井 行男 渡辺 一郎
8. 8	895 (6)	会員卓話「私の職業-生命保険」	長谷川末男
8 22	896 (7)	親睦生き生き例会 自己評価優秀前ガバナー賞受賞 新入会員入会式	矢板イースタンホテル 関谷 直人 大谷 豊
8. 29	897 (8)	外東卓話-畏敬について	堀内静江先生
9. 5	898 (9)	会員卓話-青少年月間にあたって	福本 治夫
9. 12	899 (10)	参拝例会 宗源寺 9/12-9/26 家庭集会(伊辺会合)	高橋 智純
9 19	900 (11)	900回記念例会 記念品贈呈	高橋 貞夫(大田原R.C)
9. 26	901 (12)	外東卓話-老人ホームからの報告 夏期交換学生 帰国報告	郡須順天荘 高橋 統一様 渡辺貴代美様
9. 30	902 (13)	東水原R.Cとの姉妹クラブ再締結式 挨拶 * 祝 辞	いとう 会長 小滝 信光 東水原R.C会長 張 世斗 バスターガバナー 鈴木 基一
10. 15		栃木第1分区I, G, F	ホスト 黒羽 R.C
10. 17	903 (14)	東電蛇尾川揚水発電所工事現場見学 卓話 蛇尾川水力建設所 日比ジュニアテニス交換委員 委嘱状伝達	鍋木 文夫 格和 宏達様 富田 勲
10 24	904 (15)	親睦ゴルフコンペ	塩原カントリークラブ
10 31	905 (16)	新クラブ創立拡大特別代表他委嘱状伝達	地区幹事 渡辺 勝人様
10 25		特別代表 鈴木伊勢松 拡大補佐 君島 六郎、岡部 稔、関谷 直人、富田 勲 クラブ協議会	ガバナー公式訪問のため
11 7	906 (17)	石原敬士ガバナー公式訪問	いとう
11 12		台湾、桃園R.C一行11名 歓迎会	ニュー塩原
11. 14	907 (18)	会員卓話 ガバナー公式訪問所感 クラブ協議会 拡大について	石島 祐雄、桐花 武夫 特別代表 鈴木伊勢松
11. 14		次期役員および理事の指名委員会開催	ニュー塩原
11. 21	908 (19)	1991-92年度会長、1990-91年度役員および理事の指名 会員卓話 R財団月間に際して クラブ協議会 新クラブ結成の件	委員長 伊藤 俊三 委員長 一木 純雄 特別代表 鈴木伊勢松
11. 24-26		第11回255地区ライラセミナー開催	塩原もみじ荘
11 28	909 (20)	ライラ参加者挨拶 会員卓話 西郡須野町の概要	新江富美恵様、榎原 良子様 高野 三郎
12. 5	910 (21)	会員卓話 クラブ創立18周年を越えて	鈴木 基一
12 12	911 (22)	会員卓話「くもの糸」	大森 仁龍
12 19	912 (23)	1989-90年次総会 米山奨学会より感謝状贈呈 直前会長、幹事へ感謝状贈呈 * 挨拶 * 挨拶 次期次期会長挨拶 次期理事代表挨拶 退会挨拶	いとう 井上 正夫 関谷 直人、池嶋 英智 * * 郡司 昌佳 青山栄一郎 渡辺 陸男

例 会 日	通 算 回 数 (年 度 回 数)	内 容
2. 1 9	913 (24)	新春例会 年頭の挨拶 会長 小滝 信光 幹事 薄葉 忠 磯ヶ谷正徳 新入会員入会式
1. 16	914 (25)	会員卓話 米山記念奨学会 小林 正一、小林 正治
1. 23	915 (26)	新年会親睦家族会 R財団交換学生挨拶 R財団交換学生近況報告 いとう ウィルソン アイダ君(ブラジル) 黒須 靖(宇都宮西RC会長)
1. 30	916 (27)	地区委員委嘱状伝達 青少年およびライラ委員 小滝 信光 米山記念奨学会委員 関谷 直人 地区年次大会の案内 福田 弘之様、岩村 英司様(鹿沼RC) 会員卓話「ロータリー理解推進月間に因んで」 森 利男
2. 6	917 (28)	認証状伝達式の案内 山中 道夫様、井戸 道廣様(栗野西方RC)
2. 13	918 (29)	会員卓話「ロータリー創立記念日」 手塚 徳次
2. 20	919 (30)	外来卓話「G. S. E.」に参加して 白相 淑久様(馬頭小川RC) 帰国の挨拶 米山奨学生 アルニーさん(アジア学院)
2. 27	920 (31)	ポールハリスフェローメダル授与される 米山のカウンセラーとして感謝状授与される 会員卓話「吟醸酒について」 大野 千里 関谷 直人 池嶋 英哲
3 6	921 (32)	会員卓話「ポリオプラス月間によせて」 菊地 孝一
3 13	922 (33)	米山功労クラブ表彰 米山功労表彰 米山協力者表彰 外来卓話「大いなる文化遺産」 井上 正夫、 少年少女合唱団副団長 小滝 信光 郡司 昌佳 退会挨拶 及川和子様 長谷川末男
3. 20		塩原西郡須RC創立総会
3. 23	923 (34)	黒羽RC・西郡須野RC合同例会 黒羽RC・西郡須野RC親善ゴルフ 黒羽 花月 郡須黒羽C.C
3. 27	924 (35)	外来卓話 黒羽刑務所へロータリー文庫書籍寄贈 下野新聞県北支社長 鈴木和光様 黒羽刑務所教育部長 鈴木善雄様
4. 3	925 (36)	クラブ協議会次年度例会場の件 退会挨拶 富田 勤 根本 隆男
4. 10	926 (37)	親睦例会(一泊) 新装オープンの挨拶 光 雲 荘 君島 久造
4 17	927 (38)	外来卓話「しがないもの書き」 松本富生様
4. 21 -22		地区年次大会参加 ロータリー財団特別功労賞受賞 鹿沼市民文化センター 鈴木基一バストガバナー
4. 24	928 (39)	クラブ臨時総会 次年度クラブ例会場の件について 認証状伝達式の案内 石原祐次様、石原遊人様(鹿沼中央RC)
5 1	929 (40)	会員卓話「私の職業と中国の旅」 笠岡 久吉
5. 8	930 (41)	ポールハリスフェローメダル伝達 会員卓話「私の職業-銀行」 笠沼 幸雄、笠岡 久吉 桐花 武夫
5. 15	931 (42)	認証状伝達式の案内 会員卓話「ふるさとの歩みを思う」 大貫隆一郎(塩原西郡須RC) 鈴木 洋利
5. 20		次年度指導者のための地区協議会 (宇都宮文化会館) 出席者 富田 勤(会長) 金子 哲也(幹事) 郡司 昌佳(クラブ奉仕) 薄葉 忠(職業奉仕) 池嶋 英哲(国際奉仕) 田中 俊彦(R財団) 関谷 直人(米山) 渡辺 一郎(青少年奉仕) 伊藤 義明(社会奉仕)
5 22	932 (43)	会員卓話「旅と私」 広瀬 久

例会日	通算回数 (年度回数)	内 容
2 5 29	933 (44)	会員卓話「建築界展望」 鈴木 道雄 米山奨学生協会「アジア学院」インボン・ブオニタンスウイ(インド) 「アジア学院」マズンダ・ニマリ(バングラディシュ)
6 5	934 (45)	外来卓話 R財団奨学生 ウイルソン・H・アイダ君(ブラジル)
6. 12	935 (46)	米山奨学生地区委員退任挨拶 小林 正治 塩原西郡須RC特別代表挨拶 鈴木伊勢松
6. 19	936 (47)	外来卓話「西郡須野町舎建設壁面とタイル」 大田原RC 橋本 洋 地区青少年奉仕並びにライラ委員退任挨拶 伊藤 俊三
6. 26	937 (48)	本年度最終例会 於 いろいろ 1989-90会長退任挨拶 小滝 信光 * 幹事 * 薄葉 忠

プログラム(富田年度)

例会日	通算回数 (年度回数)	内 容
2 7 3	938 (1)	クラブ認証状、定款細則 小滝 信光 財産目録引継 富田 勲 会長就任挨拶 金子 哲也 幹事就任挨拶 塩川 美好、長谷川 逸 新入会員入会式
7 10	939 (2)	クラブアッセンブリー 公式訪問について 小林 正治 分区代理挨拶 半田 久一
7. 17	940 (3)	1990-91地区委員委嘱状伝達式 関谷 直人、小滝 信光 宅間美治雄ガバナー公式訪問 於ホテルニュー塩原
7. 24	941 (4)	クラブ協議会 郡司 昌佳 四大奉仕委員長就任挨拶 国際奉仕委員長 池嶋 英哲 職業奉仕委員長 薄葉 忠
7. 31	942 (5)	納涼移動例会 於矢板イースタンホテル (西郡須野少年少女合唱団指導者招待)
8. 7	943 (6)	会員卓話 会員増強月間に因んで 会員増強委員長 大塚 直文
8 14	944 (7)	終戦記念例会 金子 哲也 手記朗読
8 21	945 (8)	クラブアッセンブリー 富田 勲
8. 28	946 (9)	会員卓話 環境問題を考える 富田 勲
9 4	947 (10)	㈱日産自動車上三川工場見学 職業奉仕委員長 薄葉 忠 塩原西郡須RCと合同
9 11	948 (11)	会員卓話 青少年奉仕月間に因んで 青少年奉仕委員長 渡辺 一郎
9. 18	949 (12)	外来卓話 青少年問題について 県北児童相談所所長 五味酒勇一
9. 25	950 (13)	クラブミーティング 富田 勲 クラブ運営について SAA 鈴木 道雄
10. 2	951 (14)	移動例会 於ホテルニュー大綱 会員卓話 欧州を旅して 郡司 昌佳
10. 9	952 (15)	会員卓話 米山月間に因んで 地区委員 関谷 直人
10 16	953 (16)	外来卓話 ターミナルケアについて 西山 薫子
10 23	954 (17)	会員卓話 職業奉仕月間に因んで 職業奉仕委員長 薄葉 忠 台湾桃園RC一行6名 歓迎会 ホテルニュー塩原

例 会 日	通 算 回 数 (年 度 回 数)	内 容	名 称
2 10 28 10. 30	955 (18)	栃木第1分区I M 移動例会 断食坐禅例会	那須ビューホテル 宗 源 寺
11. 6	956 (19)	会員卓話 1. M の感想 環境保全について	小池 一徳 森 利男
11. 13	957 (20)	会員卓話 東欧諸国の大変な変化を目の当りにして	福本 治夫
11. 20	958 (21)	会員卓話 地区社会奉仕合同研究会報告 高齢者及び障害者奉仕委員長 新入会員入会式 片柳 洋、齋藤 靖	青山栄一郎
11 27	959 (22)	会員卓話 ロータリー財団月間になんで R財団委員長	田中 俊彦
12 4	960 (23)	アジア学院米山奨学生2名帰国挨拶 (インド) インボンブオンタンマウイ (バングラデッシュ) マズングニマリ	
12 11	961 (24)	クラブミーティング 地区年次大会の案内 下館RC 新井 雅勝、地橋 伸明 足利わたらせRCチャーターナイトの案内 足利わたらせRC 長 菊太郎 川上 晃 宇都宮90RCチャーターナイトの案内 宇都宮90RC 築 郁夫 梶田 輝夫	富田 勤 地橋 伸明
12. 18	962 (25)	1990-91クラブ年次総会 次期次期会長選任 次期理事選任 直前会長、幹事へ感謝状贈呈 * 挨拶 次期次期会長挨拶 次期理事代表挨拶	於いとう 君島 六郎 君島 六郎 薄業 忠 薄業 忠 室井 行男 井上 正夫
3. 1 8	963 (26)	新春初例会 年頭の挨拶、会長、幹事 ・1991-92地区青少年奉仕並びにライラ委員 委嘱状の伝達及び米山記念奨学会感謝状の贈呈 ・1991-92地区米山記念奨学会委員委嘱状伝達	富田 勤 金子 哲也 小滝 信光 岡谷 直人
1 22	964 (27)	会員卓話 ロータリー理解推進月間になんで	岡部 稔
1 29	965 (28)	新年家族例会	ホテルニュー塩原
2 5	966 (29)	会員卓話 学校の経営者として 家族集会の結果報告	塩川 美好 小林 正治
2 12	967 (30)	西那須野RC・黒羽RC合同例会 記念講演 子供の言葉と心について	黒磯小教諭 いとう 小池 貞雄
2 19	968 (31)	会員卓話 環境問題についてII	富田 勤
2 26	969 (32)	クラブミーティング 20周年記念事業について	富田 勤
3. 5	970 (33)	会員卓話 ロータリー創立に因んで	P G 鈴木 基一
3 12	971 (34)	会員卓話 ボランティアグループとロータリー 社会奉仕委員長	西山 公昭
3 19	972 (35)	会員卓話 養豚について 米山功労クラブ表彰、米山功労者表彰 米山協力者表彰	金子 哲也
3. 26	973 (36)	外来卓話 らくりん座	晴輪 鮎 浅野 晴子
4. 2	974 (37)	20周年記念式典の組織と1991-92西那須野RC委員会編成配布 退会挨拶	郡司 昌佳 亀田 貞夫
4. 9	975 (38)	会員卓話 2550地区年次大会に参加して 遺言と相続について	大谷 豊洋 片柳 洋
4. 16	976 (39)	外来卓話 野鳥の話し 国立塩原視力障害センター指導課長 新入会員入会式 1991-92理事会、役員会、役員補助者組織図配布	見原 隼三 猪瀬 正弘 郡司 昌佳

例会日	通算回数 (年度回数)	内 容	富田 勤
3. 4 23	977 (40)	クラブミーティング 20周年記念式典の件	富田 勤
4 30	978 (41)	外来卓話 西那須野町フレンドシップボランティアグループについて 会員卓話 採卵養鶏について	菅原 成子 磯ヶ谷正徳
5 14	979 (42)	会員卓話 頭頸部の悪性腫瘍について 1991-92R I 会長テーマについて	P G 大原 栄 鈴木 基一
5. 21	980 (43)	追悼例会 故小林正治会員を偲んで	富田 勤、小滝 信光 室井 行男、鈴木 基一
5 28	981 (44)	会員卓話 地区協議会に出席して	次期次期会長 室井 行男
6 4	982 (45)	外来卓話 元米山奨学生(1982-83) 新入会員入会式	李 源珠 謝 明樹
6 11	983 (46)	移動例会 アジア学院新入生歓迎交流会	アジア学院 食堂 国際奉仕委員長 池嶋 英哲
6. 18	984 (47)	クラブミーティング ロータリー財団奨学生渡米の挨拶 退会挨拶	西山 公昭 三浦 照男 石島 祐雄
6. 25	985 (48)	本年度最終例会 1990-91会長退任挨拶 * 幹事退任挨拶 手塚徳次会員病氣退会承認	ホテルニュー 塩原 富田 勤 金子 哲也 富田 勤

プログラム（郡司年度）

例会日	通算回数 (年度回数)	内 容	富田 勤
7. 2	986 (1)	新旧会長引継 クラブ財産引継 結婚誕生祝 皆出席表彰 就任挨拶 理事会報告 家庭集会の件	前会長 富田 勤 会長 郡司 昌佳 前会長 富田 勤 会長 郡司 昌佳 親睦 伊藤 俊三 出席 渡辺 邦男 会長 郡司 昌佳 幹事 佐藤 正一 会長 郡司 昌佳 情報 関谷 直人
7. 9	987 (2)	四大奉仕委員長 就任挨拶 S A Aより本年度計画 夏季交換学生紹介 家庭集会について	クラブ奉仕 室井 行男 職業奉仕 高野 三郎 社会奉仕 田代 民 国際奉仕 小池 保 S A A 佐々木 栄緑 クラブ奉仕 室井 行男 情報 関谷 直人
7. 16	988 (3)	クラブ総会 (例会場変更) (創立20周年式典)	会長 郡司 昌佳
7. 23	989 (4)	クラブ奉仕研究会 参加報告	クラブ奉仕 室井 幸男 広報 深尾 賢一 会員増強 鈴木 洋利 雑誌 笠岡 久吉 情報 関谷 直人

例会日	通算回数 (年度回数)	内 容	親睦 幹事	伊藤 俊三 スタンホテル 佐藤 正一
3. 7 30	990 (5)	納涼例会 米山奨学生招待	親睦 幹事	伊藤 俊三 スタンホテル 佐藤 正一
8. 6	991 (6)	結婚誕生祝 皆出席表彰 理事会報告 外来卓話 ・ 監査報告	親睦 出席 会長 アジア学院 西郡須野少年少女合唱団 監査	伊藤 俊三 渡辺 邦男 郡司 昌佳 安井武雄様 中村芳子様 小沢 恒明
8. 13	992 (7)	会員増強について 創立20周年記念行事について	増強月間 行事委員長	鈴木 洋利 田代 民
8. 20	993 (8)	クラブアッセンブリ 創立20周年記念行事について 家庭集会の結果発表	会長 情報	郡司 昌佳 関谷 直人
8. 27	994 (9)	20周年記念事業 らくりん座公演		町民ホール
9. 3	995 (10)	結婚誕生祝 皆出席表彰 新入会員紹介 松本富生君 外来卓話 地区役員委嘱状 伝達式	親睦 出席 紹介者 大田原警察署交通課長 青少年奉仕ライラ委員 米山記念奨学会委員	伊藤 俊三 渡辺 邦男 佐々木栄様 白井孝雄様 小滝 信光 関谷 直人
9. 10	996 (11)	クラブアッセンブリ 20周年記念式典について I Mについて	会長	郡司 昌佳
9. 15	997 (12)	20周年記念式典		ホテルニュー塩原にて
9. 24	998 (13)	外来卓話	西郡須野少年少女合唱団	及川 和子様 長谷川幸子様
10. 1	999 (14)	結婚誕生祝 I Mについて 青少年活動月間について	親睦 情報 青少年	伊藤 俊三 小滝 信光 高橋 智純
10. 8	1000 (15)	1000回記念例会 家族会 報道関係感謝状贈呈	会長 親睦 広報	郡司 昌佳 伊藤 俊三 深尾 賢一
10. 16	1001 (16)	職業奉仕について 米山奉仕記念奨学会について	職業奉仕 米山奉仕	高野 三郎 小池 保
10. 22	1002 (17)	会員卓話 I Mに参加して	会長	郡司 昌佳 謝 明樹
10. 29	1003 (18)	家庭集会について 台湾桃園 R C 30周年記念式典に参加者社行会	情報 会長	関谷 直人 郡司 昌佳
11. 5	1004 (19)	会長、役員選挙について フリートーキング	指名委員長	伊藤 俊三
11. 12	1005 (20)	結婚、誕生祝 皆出席表彰 委嘱状伝達	親睦 出席 日、比ジュニアテニス交換委員	伊藤 俊三 渡辺 邦男 富田 勲
11. 19	1006 (21)	会員卓話 桃園30周年記念式典に参加 指名委員会 次期次期会長・次期役員について R財団月間に因んで	国際奉仕 塩原西郡須 R C 指名委員会 バストガバナー	小池 一徳 本沢利夫様 伊藤 俊三 青藤 隆様

例会日	通算回数 (年度回数)	内 容
3 11 26	1007 (22)	会員卓話 最近の経済動向 日比交換ジュニアテニスについて 猪瀬 正弘 富田 勳
12 3	1008 (23)	結婚、誕生祝 皆出席表彰 外来卓話 ライラセミナーに参加して 外来卓話 歳末助け合いについて 親睦 伊藤 俊三 出席 渡辺 邦男 八木沢栄子様 西郡須野町長 宮本善夫様
12. 10	1009 (24)	分区代理挨拶 特別プログラム 奉仕に関する円卓討論会 国際奉仕について 第一分区代理 大高 章様 ロータリー情報 関谷 直人 国際奉仕 小池 一徳
12. 17	1010 (25)	クラブ年次総会 会長挨拶 直前会長、幹事感謝状贈呈 直前会長、幹事謝辞 1993-94年度会長確定 1992-93年度役員確定 次期次期会長挨拶 次期役員代表挨拶 会長 郡司 昌佳 指名委員長 富田 勳 金子 哲也 伊藤 俊三 指名委員長 伊藤 俊三 福本 治夫 伊藤 俊三
12. 24	1011 (26)	1991-92年度前半を顧みて 会長 郡司 昌佳
12. 31		特別休会

ロータリー財団寄付金計算書

(単位：ドル)

1990年12月	1990年6月	1990年7月～12月	1990年12月	1991年1月～6月	1991年6月	1991年6月	1991年6月
会 員 数	寄付金累計	寄 付 金 計	寄付金累計	寄 付 金 計	寄付金累計	年間達成率	累積達成率
71名	78,851.33	0	78,851.33	7,571.21	86,422.54	1000%	13,800%

財 団 寄 付 年 表

年 度	基 準 会 員 数	年 間 寄 付 額	年 間 達 成 率	寄 付 累 計 額	累 積 達 成 率	1 名 当 り 寄 付 額	委 員 長
1971～1972	27名	310.02 \$	100%	310.02 \$	100%	11.48 \$	手塚 徳次
1972～1973	27	336.71	100	646.73	200	12.47	藤森 武雄
1973～1974	38	1,341	300	1,987.73	500	35.28	郡司 昌佳
1974～1975	43	1,785	400	3,772.73	900	41.51	羽石美代治
1975～1976	45	2,020	400	5,792.73	1,300	44.88	小林 正治
1976～1977	48	2,730.72	500	8,523.45	1,800	56.89	室井 行男
1977～1978	46	3,725.31	800	12,248.76	2,600	80.98	岡部 稔
1978～1979	53	6,459	1,200	18,707.76	3,800	121.86	鈴木 基一
1979～1980	52	2,715	500	21,422.76	4,300	52.21	大塩 直文
1980～1981	58	5,220	900	26,642.76	5,200	90.00	伊藤 俊三
1981～1982	61	4,783	700	31,425.76	5,900	78.40	井上 正夫
1982～1983	63	4,550	700	35,975.76	6,600	72.22	斎藤 豊吉
1983～1984	65	5,124	700	41,099.76	7,300	78.83	広瀬 久
1984～1985	74	3,607	400	44,706.76	7,700	48.74	小滝 信光
1985～1986	71	2,600	300	47,306.76	8,500	36.62	富田 勤
1986～1987	71	9,992.86	1,500	58,449.61	10,000	140.73	深尾 賢一
1987～1988	67	7,101.72	1,000	65,551.33	11,000	105.99	西山 公昭
1988～1989	70	10,000	1,400	75,551.33	12,400	142.86	宮 利男
1989～1990	71	3,300	400	78,851.33	12,800	46.48	一木 純雄
1990～1991	71	7,571.21	1,000	86,422.54	13,800	106.36	田中 俊彦

年度別ポールハリスフェロー・準フェロー氏名

年 度	ポ ー ル ハ リ ス フ ェ ロ ー 氏 名
1978～79	城田正男
1979～80	城田たつ（夫人）、福本治夫、鈴木基一、小林正治、君島六郎、小池 保
1980～81	君島 隣（元）、伊藤甲太郎（元）
1981～82	三森重保（元）、小滝信光、岡部 稔、鈴木伊勢松
1982～83	関谷直人、郡司昌佳、森 透、手塚徳次（元）、草野栄龍（元）、吉田美雄（元）
1983～84	伊藤俊三、大塩直文、佐藤悦郎（元）、室井行男、伊藤祐蔵、城田民男（長男）
1984～85	井上正夫、森 利男、渡辺陸男（元）
1985～86	土山幸三（元）、富田 勲、君島久造
1986～87	齋藤豊吉、小沢恒明、戸田白鳳（元）、広瀬 久、城田正男（第2回） 金子哲也、佐々木栄緑
1987～88	城田正男（3回）、中里 正、高野三郎
1988～89	城田正男（4回・5回）、岡部 稔（2回）、大森仁龍、小林正一 佐藤正一、森 秀雄、宮 利男
1989～90	大野千里、笹沼幸雄、笠間久吉、狐塚敏雄
1990～91	深尾賢一

年 度	ポ ー ル ハ リ ス 準 フ ェ ロ ー 氏 名
1977～78	小出正夫（元）
1978～79	山口正春（元）
1979～80	笠間久吉、板内栄治（元）
1980～81	藤原春吉（元）、小林正一、大森仁龍、笹沼幸雄、高瀬千治（元）
1981～82	青山栄一郎、鈴木道雄、土屋日出男、大野千里
1982～83	鈴木洋利、伊藤義明、狐塚敏雄、三森美夫、宮 利男、大武義雄
1983～84	マリオ・バーベリ（元）、渡辺一郎
1984～85	池島英哲、佐藤正一、高橋智純
1985～86	渡辺邦男、深尾賢一、田中俊彦、西山公昭
1986～87	菊地孝一、鍋本文夫、大島静夫
1987～88	田代 民、
1988～89	谷黒克守、長 保光（元）、大原 栄
1989～90	一木純雄（元）、薄葉 忠

年 度	マ ル チ ブ ル ポ ー ル ハ リ ス フ ェ ロ ー 氏 名
1986～87	城田正男
1987～88	城田正男
1988～89	城田正男（2回）、岡部 稔

年 度	マ ル チ ブ ル ポ ー ル ハ リ ス 準 フ ェ ロ ー 氏 名
1989～90	君島久造、岡部 稔、森 利男
1990～91	井上正夫、金子哲也、笹沼幸雄

○ ボールハリスフェロー名簿 (49名)

城田 正男	福本 治夫	鈴木 基一	小林 正治	君島 六郎	小池 保
君島 隣	伊藤甲太郎	鈴木伊勢松	小滝 信光	岡部 稔	三森 重保
関谷 直人	郡司 昌佳	森 透	手塚 徳次	草野 栄龍	伊藤 俊三
大塩 直文	佐藤 悦郎	室井 行男	伊藤 祐蔵	井上 正夫	森 利男
渡辺 陸男	土山 幸三	富田 勤	吉田 美雄	君島 久造	斎藤 豊吉
小沢 恒明	戸田 白鳳	広瀬 久	金子 哲也	佐々木 栄緑	高野 三郎
中里 正	大森 仁龍	小林 正一	佐藤 正一	宮 利男	森 秀雄
大野 千里	笹沼 幸雄	笠間 久吉	狐塚 敏雄	深尾 賢一	

(会員家族) 城田 たつ 城田 民男

○ ボールハリス準フェロー名簿 (35名)

小出 正夫	谷黒 克守	大原 栄	一木 純雄	高瀬 千治	青山 栄一郎
鈴木 道雄	土屋日出男	薄葉 忠	鈴木 洋利	伊藤 義明	三森 美夫
大武 義雄	渡辺 一郎	池嶋 英哲	高橋 智純	西山 公昭	渡辺 邦男
田中 俊彦	鍋木 文夫	田代 民	菊地 孝一	大島 静夫	古山 正
マリオ、C.	バーベリー	大武 春雄	蜂果 栄	金子 幸夫	渡辺 保夫
江達 和雄	片股 幸一	山口 正春	坂内 栄治	藤原 春吉	長 保光

○ マルチプルボールハリスフェロー名簿 (2名)

城田 正男 岡部 稔

○ マルチプルボールハリス準フェロー名簿 (6名)

君島 久造 岡部 稔 森 利男 井上 正夫 金子 哲也 笹沼 幸雄

米山記念奨学会・個人特別寄付氏名

1990～1991

米山功勞者	回数	金額	米山準功勞者	回数	金額	米山準功勞者	回数	金額
佐藤 悦郎	1	300,000	富田 勤	4	120,000	田中 俊彦	2	60,000
君島 六郎	1	300,000	中里 正	4	120,000	君島 久造	2	60,000
城田 正男	2	600,000	室井 行男	4	120,000	笠間 久吉	2	60,000
戸田 白鳳	1	300,000	鍋木 文夫	4	120,000	三森 美夫	1	30,000
君島 隣	1	300,000	金子 哲也	3	90,000	宮 利男	1	30,000
小滝 信光	1	300,000	森 利男	3	90,000	伊藤 俊三	1	30,000
斎藤 豊吉	1	300,000	谷黒 克守	3	90,000	大塩 直文	1	30,000
(故)小林正治	1	300,000	田代 民	3	90,000	池嶋 英哲	1	30,000
(故)草野栄龍	1	300,000	小林 正一	3	90,000	磯ヶ谷 正徳	1	30,000
			深尾 賢一	2	60,000	福本 治夫	1	30,000
米山協力者	回数	金額	青山 栄一郎	2	60,000	渡辺 邦男	1	30,000
関谷 直人	8	240,000	笹沼 幸雄	2	60,000	秋元 正	1	30,000
森 透	8	240,000	佐藤 正一	2	60,000	(退)佐藤悦郎	3	90,000
井上 正夫	6	180,000	薄葉 忠	2	60,000	(退)手塚徳次	2	60,000
郡司 昌佳	6	180,000	菊地 孝一	3	90,000			
岡部 稔	5	150,000						
鈴木伊勢松	5	150,000						
土屋日出男	5	150,000						
1990～91					累計額			
普通寄付					207,000円	} 7,584,646円		
クラブ特別寄付					314,250円			
個人特別寄付					1,560,000円			
合計					2,081,250円	10,713,146円		

米山記念奨学生受入れ報告

姓 名 李 源 珠 国 籍 大 韓 民 国 生 年 月 日 1950年 9 月 27 日 カウンセラー 1982年度 鈴 木 基 一 1983年度 草 野 栄 龍	姓 名 洪 秋 芬 国 籍 中 華 民 国 生 年 月 日 1957年 9 月 18 日 カウンセラー 1984年度 鈴 木 基 一
---	---

1987年度スペシャル米山受入れ（アジア学院）

姓 名 コルモ・エラ 国 籍 フィリピン カウンセラー 森 利 男	姓 名 ロベルト・グリサイ 国 籍 フィリピン カウンセラー 城 田 正 男
---	--

1988年度スペシャル米山受入れ（アジア学院）

姓 名 スチャグ・クアン・ビジニー 国 籍 タ イ カウンセラー 伊 藤 俊 三	姓 名 マメサ・フラン・アルバート 国 籍 インドネシア カウンセラー 小 林 正 治
--	---

1989年度スペシャル米山受入れ（アジア学院）

ブスタマンテ・ダニロ・ラバカナクルフ

姓 名 国 籍 フィリピン カウンセラー 井 上 正 夫	姓 名 ウェイサング・アルニ 国 籍 タイ カウンセラー 関 谷 直 人
------------------------------------	--

1990年度スペシャル米山受入れ（アジア学院）

姓 名 インボンブオンタンマウイ 国 籍 インド カウンセラー 小 嶋 信 光	姓 名 マズンダニマリ 国 籍 バングラディッシュ カウンセラー 大 塩 直 文
---	--

1991年度スペシャル米山受入れ（アジア学院）

平成 3. 8. 30現在

姓 名 ロイ・シカ 国 籍 バングラディッシュ カウンセラー 岡 部 稔	姓 名 国 籍 カウンセラー
--	----------------------

会 員 増 強 の 状 況

（平成 3. 7. 1 現在）

年 度	期 首 (7月1日)	入 会 者	退 会 者	期 末 (6月30日)	備 考
1971-72	27 名	6 名	2 名	31 名	(実増) 4 名
1972-73	31	7	6	32	1
1973-74	32	17	3	46	14
1974-75	46	5	3	48	2
1975-76	48	4	6	46	- 2
1976-77	48	8	3	53	5
1977-78	53	4	4	53	0
1978-79	53	10	6	57	4
1979-80	57	5	1	61	4
1980-81	61	8	7	62	1
1981-82	62	7	6	63	1
1982-83	63	9	2	70	7
1983-84	70	8	3	75	5
1984-85	75	9	11	73	- 2
1985-86	70	2	3	69	- 1
1986-87	69	7	9	67	- 2
1987-88	67	6	5	68	1
1988-89	68	4	4	68	0
1989-90	68	4	4	68	0
1990-91	68	6	6	68	0
1991-92	68				

会 員 紹 介

氏 名・生年月日・会 社 名・自宅住所・電 話・職業分類

 <p>青山 栄一郎 T 11年 9月20日</p> <p>㈲ 柏屋 旅館 塩原町大字下塩原364 TEL (32) 2 9 2 1 旅館(シニア)</p>	 <p>秋元 正 T 13年 1月5日</p> <p>純野 神社 西那須野町石林758 TEL (36) 0 8 0 9 神道(シニア)</p>	 <p>福本 治夫 S 2年 11月2日</p> <p>日本キリスト教団 西那須野教会 西那須野町大和町6-5 TEL (36) 0 4 4 0 キリスト教(シニア)</p>
 <p>深尾 賢一 S 23年 5月8日</p> <p>深山 観光 ㈱ 塩原町大字下塩原683 TEL (32) 4 3 3 0 リゾートホテル</p>	 <p>郡司 昌佳 S 12年 8月2日</p> <p>栃木オセキ販売㈱ 西那須野町三島1-37-1 TEL 0286 (48) 2 2 2 1 (36) 0 8 0 6(白) 農機具販売(シニア)</p>	 <p>広瀬 久 S 11年 6月3日</p> <p>陸スタイル ㈱ 西那須野町東赤田321 TEL (36) 3 2 8 1 縫製業</p>
 <p>長谷川 進 S 11年 11月13日</p> <p>日本 生命 西那須野町太夫塚3-221-515 TEL (36) 0 8 5 6 生命保険</p>	 <p>磯ヶ谷 正徳 S 33年 6月11日</p> <p>㈲磯ヶ谷養鶏園 大田原市上石上1871 TEL (29) 2 0 7 0 養鶏業</p>	 <p>池嶋 英哲 S 24年 11月27日</p> <p>池嶋酒造 ㈱ 大田原市下石上1227 TEL (29) 0 0 1 1 酒造業</p>

 <p>井上正夫 T 13年12月20日</p> <p>㈱井上電機商会 西那須野町三島1-20 TEL (36) 0410 (36) 5831 (白) 自動車電装小売 (シニア)</p>	 <p>伊藤俊三 T 13年10月21日</p> <p>㈱割烹いとう 西那須野町西三島2-158-6 TEL (36) 0028 (36) 5784 (白) 日本料理 (シニア)</p>	 <p>伊藤祐藏 T 13年9月18日</p> <p>㈱光陽社 西那須野町東町2-4 TEL (36) 0009 印刷業 (シニア)</p>
 <p>伊藤義明 T 15年4月26日</p> <p>伊藤牧場 塩原町大字横林27 TEL (35) 2558 酪農 (シニア)</p>	 <p>猪瀬正弘 S 19年4月2日</p> <p>㈱足利銀行西那須野支店 宇都宮市岩曾町1331-2 TEL (36) 1211 0286 (65) 5965 (白) 商業銀行</p>	 <p>金子哲也 S 14年2月1日</p> <p>㈱那須アカデミー牧場 西那須野町大和町8-18 TEL (36) 0006 (36) 3284 (白) 牧場 (シニア)</p>
 <p>笠岡久吉 S 2年1月2日</p> <p>㈱笠岡屋 塩原町大字下塩原764 TEL (32) 2350 土産物小売 (シニア)</p>	 <p>鑄木文夫 S 15年8月19日</p> <p>鑄木電気工事㈱ 西那須野町東三島2-101-4 TEL (36) 1047 電気工事</p>	 <p>菊地孝一 T 9年2月5日</p> <p>㈱根田屋 西那須野町永田町9-2 TEL (36) 0033 玩具販売 (シニア)</p>
 <p>君島久造 S 8年2月11日</p> <p>㈱光雲荘 塩原町大字下塩原560 TEL (32) 2414 温泉経営 (シニア)</p>	 <p>君島六郎 T 11年8月15日</p> <p>㈱元泉館 塩原町大字湯本温泉101 TEL (32) 3155 温泉供給 (シニア)</p>	 <p>小林正一 S 3年5月6日</p> <p>㈱小林モータース 西那須野町東町11-4 TEL (36) 0666 自動車部品小売 (シニア)</p>

 <p>小池 一徳 S 26年11月16日</p> <p>㈱小池建設 西那須野町西三島3-183-24 TEL (36) 0229 建築業</p>	 <p>小池 保 T 12年11月1日</p> <p>西那須野信用組合 西那須野町西三島3-183-24 TEL (36) 0229 信用組合(シニア)</p>	 <p>小滝 信光 S 16年7月5日</p> <p>㈱小滝光男商店 西那須野町永田町14-21 TEL (36) 0100 化学肥料販売(シニア)</p>
 <p>碓塚 敏雄 S 5年3月28日</p> <p>塩原カントリークラブ 宇都宮市水室町931-80 TEL (35) 2211 0286 (67) 3131(白) ゴルフクラブ(シニア)</p>	 <p>桐花 武夫 S 15年9月20日</p> <p>栃木銀行 西那須野支店 河内郡河内町大字下岡本3780-2 TEL (36) 2115 0286 (73) 1341(白) 地方銀行</p>	 <p>片柳 洋 S 26年6月20日</p> <p>片柳司法書士事務所 西那須野町石林224-6 TEL (37) 3318</p>
 <p>三森 美夫 T 15年12月8日</p> <p>㈱ミモリレコード 西那須野町下永田1-979-5 TEL (36) 0712 (36) 1522(白) レコード及楽器小売(シニア)</p>	 <p>宮 利 男 S 9年5月25日</p> <p>㈱宮製材所 西那須野町南赤田322-13 TEL (36) 0040 木材販売</p>	 <p>森 透 S 5年11月5日</p> <p>㈱吉田屋商店 西那須野町栄町1-8 TEL (36) 0013 石油液化气販売(シニア)</p>
 <p>森 利 男 T 7年11月1日</p> <p>㈱インテリアもり 西那須野町五軒町6-14 TEL (36) 0413 室内装飾業(シニア)</p>	 <p>森 秀 雄 S 3年7月10日</p> <p>森秀雄税理事務所 西那須野町扇町11-18 TEL (36) 2886 税理士</p>	 <p>室井 行 男 S 2年8月11日</p> <p>室井製作所 西那須野町朝日町6-40 TEL (36) 0043 機械部品製造(シニア)</p>

 <p>松本 富生 S 12年7月21日</p> <p>松本富生事務所 西那須野町三区町530-277 TEL (37) 4 5 7 3 作 家</p>	 <p>中里 正 S 3年5月4日</p> <p>中里工業 ㈱ 西那須野町東町7-9 TEL (36) 0 2 7 8 (36) 4 6 6 5 (自) 給排水工事(シニア)</p>	 <p>西山 公昭 S 8年4月25日</p> <p>長 延 寺 西那須野町二ツ室74 TEL (36) 2 1 7 7 仏 教</p>
 <p>岡部 稔 S 17年3月9日</p> <p>㈱ホテルニュー塩原 塩原町大字下塩原705 TEL (32) 2 6 1 1 ホ テ ル (シニア)</p>	 <p>大島 静夫 T 15年4月17日</p> <p>農 業 塩原町大字接骨木114 TEL (36) 1 6 4 4 農 業 (シニア)</p>	 <p>大森 仁龍 S 4年2月20日</p> <p>慶 衆 院 西那須野町井口291 TEL (36) 6 5 9 9 仏 教 (シニア)</p>
 <p>大野 千里 S 25年11月11日</p> <p>㈱ 大野 茶 店 西那須野町永田町10-1 TEL (36) 0 0 0 2 日本茶小売</p>	 <p>大塩 直文 S 3年8月7日</p> <p>大塩整形外科医院 西那須野町南町3-9 TEL (36) 0 6 2 6 整形外科医(シニア)</p>	 <p>大武 義維 S 8年10月12日</p> <p>大武 建 材 西那須野町間根167 TEL (36) 1 6 6 6 建築材料小売</p>
 <p>小沢 恒明 S 19年12月1日</p> <p>小 沢 薬 局 西那須野町五軒町1-31 TEL (36) 1 9 4 5 薬 局</p>	 <p>大原 栄 S 22年12月14日</p> <p>大原クリニック 西那須野町東三島3-67 TEL (37) 3 9 1 1 耳鼻咽喉科医</p>	 <p>大谷 豊 S 22年8月14日</p> <p>㈱ キ ャ ル 西那須野町四区町747-147 TEL (37) 3 9 7 5 広 告 業</p>

 <p>斎藤 豊吉 S 16年1月2日</p>	 <p>笹沼 幸雄 T 13年1月7日</p>	 <p>佐藤 正一 S 19年5月27日</p>
<p>柳山和建設 西那須野町南郷屋3-142 TEL (36) 3328 (36) 2068 (白) 建築業(シニア)</p>	<p>柳源三窟 塩原町大字下塩原1555 TEL (32) 2338 観光業(シニア)</p>	<p>立場佐藤商店 西那須野町東町7-20 TEL (36) 0138 燃料店</p>
 <p>佐々木 栄緑 T 12年3月31日</p>	 <p>関谷 直人 S 8年11月28日</p>	 <p>城田 正男 T 2年9月7日</p>
<p>栄緑窟 西那須野町扇町9-11 TEL (36) 0509 (36) 6006 (白) 作陶(シニア)</p>	<p>関谷商店 西那須野町五軒町7-9 TEL (36) 0135 日本酒販売(シニア)</p>	<p>那須製紙㈱ 西那須野町一区町200 TEL (36) 2530 製紙業(シニア)</p>
 <p>鈴木 洋利 S 4年4月27日</p>	 <p>鈴木 伊勢松 T 8年1月18日</p>	 <p>鈴木 基一 T 11年12月28日</p>
<p>㈱スズキ商販 西那須野町睦105 TEL (36) 2578 食料品販売(シニア)</p>	<p>鈴木電機㈱ 西那須野町あたご町3-3 TEL (36) 0919 電気工業(シニア)</p>	<p>西那須野医院 西那須野町永田町11-3 TEL (36) 1100 産婦人科医(シニア)</p>
 <p>鈴木 道雄 S 13年5月24日</p>	 <p>斎藤 靖 S 15年10月15日</p>	 <p>塩川 美好 S 5年11月12日</p>
<p>㈱道アトリエ 西那須野町太夫塚6-232-348 TEL (36) 4440 (36) 3927 (白) 建築設計</p>	<p>住友生命 西那須野町三島3-126-13 TEL (37) 0681 貯蓄保険</p>	<p>塩川商店 西那須野町永田町3-4 TEL (36) 0165 菓子販売業</p>

 <p>謝 明 樹 S 26年4月30日</p> <p>三島歯科クリニック 西那須野町三島2-121-10 TEL (36) 8468 歯科医</p>	 <p>高野 三 郎 T 12年9月7日</p> <p>㈱ た かの 西那須野町二区町342-79 TEL (36) 0047 不動産賃貸業(シニア)</p>	 <p>田 代 民 S 22年7月30日</p> <p>㈱ 田 代 組 塩原町大字下塩原282 TEL (32) 2628 建設業</p>
 <p>田 中 俊 彦 S 7年9月30日</p> <p>㈱ホテルニュー大綱 西那須野町三島5-1-42 TEL (36) 7851 温泉ホテル</p>	 <p>谷 黒 克 守 S 33年6月22日</p> <p>㈱ 谷 黒 組 塩原町大字下塩原1100 TEL (32) 2220 コンクリート工事</p>	 <p>高 橋 智 純 S 28年7月25日</p> <p>宗 源 寺 西那須野町東町1-8 TEL (36) 0168 仏教</p>
 <p>富 田 勲 S 12年3月28日</p> <p>国立塩原温泉病院 塩原町大字下塩原1333 TEL (32) 4111 (32) 3355 (白) 国立病院</p>	 <p>土 屋 日 出 男 S 6年5月20日</p> <p>㈱川崎屋運送 塩原町大字関谷1175-26 TEL (35) 2331 運輸</p>	 <p>薄 葉 忠 S 6年4月13日</p> <p>双葉堂時計店 西那須野町五軒町7-6 TEL (36) 0336 時計販売</p>
 <p>渡 辺 一 郎 S 19年5月29日</p> <p>㈱万建設興業 西那須野町扇町10-1 TEL (36) 0075 土木建設業</p>	 <p>渡 辺 邦 男 S 18年1月24日</p> <p>三和住宅㈱ 西那須野町太夫塚1-195 TEL (36) 5353 (36) 0019 (白) 不動産業</p>	 <p>吉 川 和 夫 S 21年5月22日</p> <p>大田原信用金庫西那須野支店 大田原市若草1-873 TEL (22) 6606 信用金庫</p>

哀 悼

第11代から第20代の会長経験者の内、下記の方が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

故 手塚徳次氏



ロータリー歴

昭和46年11月 創立会員として入会

昭和60年 7月 第15代クラブ会長

* ボールハリスフェロー

米山準功労者

平成 3 年10月25日逝去

故 小林正治氏



ロータリー歴

昭和47年11月 入会

昭和52年 7月 クラブ幹事

昭和62年 7月 第17代クラブ会長

昭和63年 7月 米山奨学生カウンセラー

平成 1 年 7月 第 2 5 5 地区委員

* ボールハリスフェロー

米山功労者

平成 3 年 4 月23日逝去

編集の終わりにあたり

記念式典実行委員長 郡 司 昌 佳

我々のクラブも創立時会員27名で発足し、20年を経過した今日では70名近い会員となりました。

今までに5年・10年・15年の節目には、創立記念式典を挙行すると共に記念誌を発行し、我がロータリークラブの歩みと実績を印して参りました。今回も20周年記念誌を発刊することになりまして、大勢の方々に原稿を寄せていただきました。心より御礼申し上げます。

我がロータリークラブではガバナー事務所がその後資料室となり、数々の尊い資料を活用して編集が出来るため、大変助かっております。記念誌発刊に当り、編集委員会の皆様には長時間に渡り20数回もの会合の末この様に立派な創立20周年記念誌を発刊して下さい心より御礼申し上げます。出来上がりました記念誌が我がロータリークラブの今後25年・50年の発展に役立って欲しいと願っております。

20周年記念事業もこの記念誌の発刊によって幕を閉じさせていただきます。

会員の皆様にはご協力をいただき、誠にありがとうございました。



資料室

編集委員長	小池一徳	
編集委員	関谷直人	中里 正
	小林正一	薄葉 忠
	伊藤祐蔵	金子哲也
	秋元 正	謝 明樹
	西山公昭	

正 誤 表

		誤	正
19P	左上8行	当ロータリアン	当ロータリークラブ
〃	左下12行	大塩会長	君島会長
23P	左上15行	江部順さん	江部順治さん
〃	右上7行	研〇	研鑽
32P	右上(岡部)下5行	元う	云う
33P	左上9行	今	全
37P	左下12行	1984~1985	1983~1984
〃	右上9行	83年	84年
〃	右下15行	2ホスト	コホスト
39P	左下8行	回復	快復
49P	左上5行	重績	重責
50P	右上5行	是が否	是が非
57P	右下9行	単独	単独
76P	上4マス姓名		プスタマンテ・ダニロ・ラバカナクルツ

発行者 西那須野ロータリークラブ
20周年誌編集委員会

〒329-27

栃木県那須郡西那須野町

五軒町1-37

足利銀行西那須野支店内

発行日 平成4年3月31日